

令和5年度
公民館・地域交流館事業報告書
あゆみ



小林公民館主催事業「アンラグドミニミニコンサート」

印西市立公民館・地域交流館

令和6年6月

はじめに

公民館は、社会教育法に基づき、市民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施し、市民の教養の向上、健康の増進、情操豊かな生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設置された教育機関です。

公民館は、社会養育を推進する拠点施設として、市民が「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」の拠点となる中心的な役割を果たしています。

公民館では、社会情勢の変化とともに多種多様化する個人や社会のニーズに応じ、地域の方々が気軽に集い（つどう）、自らの興味関心に基づく学習、文化・芸術活動や体育・レクリエーション活動、生活課題や地域課題の解決のための知識・技術の習得など（まなぶ）を通じて、世代を超えた交流や各種機関・団体などと連携を図る（むすぶ）機会を提供することで、社会教育・生涯学習を推進しています。

地域の身近な存在として寄り添い市民の皆さまの生活にゆとりとうるおいを与えるお手伝いができるよう、また、子どもたちが安心安全で健やかに成長できるよう、各種関係機関や公共施設などとも連携を図りながら、公民館5館及び地域交流館がそれぞれに地域の特色を生かした運営に努めています。

市民とともにあゆむ公民館事業についてご理解をいただくため、令和5年度公民館・地域交流館事業報告書「あゆみ」を刊行いたします。市民の皆さまにご高覧いただき、ご指導・ご鞭撻を賜れば幸いです。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行となり、生活の様々な場で活気が戻り、公民館においても利用者が増えてきている状況です。令和6年度も、引き続き「つどう・まなぶ・むすぶ」場면을推進できますよう努めてまいります。

令和6年6月

印西市立中央公民館長

目 次

| | | |
|----|--------------------------------|-----|
| 1 | 公民館・地域交流館の活動概要 | 5 |
| 1. | 印西市の教育施策 | 7 |
| 2. | 令和5年度公民館・地域交流館の事業計画 | 9 |
| 3. | 令和5年度公民館・地域交流館の事業概要 | 10 |
| 4. | 公民館運営審議会 | 11 |
| | (1) 印西市公民館運営審議会委員名簿 | 11 |
| | (2) 令和5年度審議会開催日程 | 12 |
| 2 | 公民館 | 13 |
| | (1) 事業報告 | 15 |
| | 中央公民館 | 15 |
| | 小林公民館 | 26 |
| | そうふけ公民館 | 34 |
| | 印旛公民館 | 42 |
| | 本埜公民館 | 55 |
| | (2) 利用団体一覧 | 61 |
| | 中央公民館利用サークル懇談会 | 61 |
| | 小林コミュニティサークル連絡協議会 | 62 |
| | そうふけ公民館利用サークル協議会 | 63 |
| | 印旛公民館利用サークル協議会 | 64 |
| | 本埜公民館サークル連絡協議会 | 65 |
| | (3) 利用集計 | 66 |
| | 公民館利用者集計表 | 66 |
| | (4) 条例・規則 | 67 |
| | 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例 | 67 |
| | 印西市立公民館の管理及び運営に関する規則 | 74 |
| 3 | 地域交流館 | 83 |
| | (1) 事業報告 | 85 |
| | 中央駅前地域交流館 | 85 |
| | (2) 利用団体一覧 | 104 |
| | 中央駅前地域交流館利用団体懇話会 | 104 |
| | (3) 利用集計 | 106 |
| | 中央駅前地域交流館利用者集計表 | 106 |
| | (4) 条例・規則 | 107 |
| | 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例 | 107 |
| | 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則 | 112 |

1 公民館・地域交流館の活動概要

1. 印西市の教育施策
2. 令和5年度公民館・地域交流館の事業計画
3. 令和5年度公民館・地域交流館の事業概要
4. 公民館運営審議会
 - (1) 印西市公民館運営審議会委員名簿
 - (2) 令和5年度審議会開催日程

1. 印西市の教育施策

印西市においては、将来都市像を「住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで」と定めた「印西市基本構想」の実現を進めています。

また、令和2年度に「総合教育会議」において、教育行政の現状や課題について協議し、市の最上位計画である総合計画との整合性を図りつつ、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策である「教育大綱」（令和3年度から令和7年度）を定め、本年度は3年度目になります。

こうした中、教育委員会では、令和3年度に新たに策定した第2期教育振興基本計画（令和4年度から令和7年度）において、引き続き将来都市像の実現に向けた政策の1つである「子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくります《子育て・教育・文化》」の推進を図っていきます。

昨今の財政状況の厳しい折、前年度事業の点検と評価を行うとともに、第2期教育振興基本計画を踏まえ、子どもから高齢者に至るすべての市民が心身ともにたくましく健康で明るい生活が送れるよう様々な事業を展開していきます。

つきましては、第2期教育振興基本計画の基本理念「だれもが輝きともにはばたく いんざいの学び」に基づき、主な事業を次のように定めます。

（教育施策）

【教育の基本理念】 だれもが輝き ともにはばたく いんざいの学び

主な施策

- I 知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む（学校教育）
 - 1 子どもたちの学ぶ力を育む
 - 2 子どもたちの豊かな心を育む
 - 3 子どもたちの健やかな体を育む

Ⅱ 子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境を充実させる（教育環境）

- 1 教育環境整備の充実
- 2 学校の適正規模・適正配置の推進
- 3 情報化社会に対応した教育の推進
- 4 信頼される学校づくり

Ⅲ 市民が様々な文化や芸術に触れることができるとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承する（文化・芸術）

- 1 文化・芸術活動の推進
- 2 文化財の保護・活用の推進
- 3 市史編さん事業や地域史料の保存

Ⅳ 市民が生涯を通して学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てる（生涯学習・青少年健全育成）

- 1 多様な学習機会の提供
- 2 図書館サービスの充実
- 3 生涯学習施設の整備・充実
- 4 家庭と地域の教育力向上と青少年の健全育成

★ 生涯学習の主な施策

子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現につながる生涯学習の環境づくりが求められている。

また、生涯学習を通じて、地域への愛着を生み、地域づくりのための社会参加を促すことや学習成果を地域に還元できるような支援、活動の場となる生涯学習施設の整備が必要である。

さらに、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、子どもたちが安全で安心な環境で健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域の連携を図り、青少年の健全な育成に向けた活動を推進する必要がある。

多様な学習機会の提供として生涯学習ガイドやホームページによる生涯学習情報の提供や市民アカデミーや出前講座、各公民館主催事業で多種多様な学習機会の提供を行うとともに人づくり地域づくりにつながる学習内容を工夫する。また、大学や企業などと連携・協力し、市民の学習機会の充実を図る。

図書館サービスの充実として図書館が地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設になるよう従来の来館型サービスのほか、電子書籍の提供など非来館型サービスの充実を図り、誰でも利用しやすい施設の在り方などについて調査・研究を行う。また、子どもの読書活動を推進する。

生涯学習施設の整備・充実として計画的な改修等により、施設機能の充実を図るとともに地域の実情に合ったサービスを展開する。

家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成として家庭教育学級や講座を開設し、子どもの発達・成長段階に応じた情報提供や課題の解決に向けた自発的な取組を支援する。また、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図る。

2. 令和5年度公民館・地域交流館の事業計画

公民館・地域交流館は、市民のために実際の生活にあった教育や学術、文化などの事業を行うことにより、市民の教養を向上させ、健康を増進し、情緒を豊かにすることを目指し、ひいては生活文化の振興、社会福祉の増進に貢献することを目的とする。

印西市立公民館・地域交流館は、この目的を達成するため、社会や地域の課題・要望をとらえて、対象に合わせた講義や体験など様々な形式で各種事業を展開する。

(1) 公民館・地域交流館主催事業

子ども対象事業、大人対象事業、公民館利用サークル連絡協議会・大学・青少年相談員等の社会教育関係団体やサークルとの共催事業など地域の特色を生かした事業を実施し、市民の社会教育・生涯学習を推進する。

(2) 団体育成事業

① 利用サークル等への指導・支援

各利用サークル・団体が、自主的かつ円滑な学習を行えるよう必要に応じて指導・支援を行う。

② 公民館・地域交流館利用サークル連絡協議会への指導・支援

加盟サークル間の相互理解・交流・地域コミュニティの醸成を達成するため、自主運営を尊重し、必要に応じて指導・支援を行う。

- 中央公民館利用サークル懇談会（26サークル加盟）
 - 小林コミュニティサークル連絡協議会（16サークル加盟）
 - そうふけ公民館利用サークル協議会（23サークル加盟）
 - 印旛公民館利用サークル協議会（15サークル加盟）
 - 本埜公民館サークル連絡協議会（18サークル加盟）
 - 中央駅前地域交流館利用団体懇話会（33サークル加盟）
- ③ 公民館・地域交流館利用サークル連絡協議会が行う「まつり」への支援

公民館利用サークル連絡協議会加盟サークルが活動成果の発表を行う「まつり」を円滑に運営できるよう支援する。

- 中央公民館「みなづき祭」
- 小林公民館「小林コミュニティまつり」
- そうふけ公民館「ふれあい文化館まつり」
- 印旛公民館「いんば公民館まつり」
- 本埜公民館「本埜公民館まつり」
- 中央駅前地域交流館「中央駅前地域交流館まつり」

- ④ 公民館講座修了者の自主活動への指導・支援

公民館講座修了者の自主活動に対して、円滑に学習できるよう必要に応じて指導・支援を行う。

(3) 個人学習支援事業

市民の個人学習の推進を図るため、公民館・地域交流館事業に差し支えない範囲で、個人学習室の開放を行う。

(4) 貸館事業

市民や利用サークル・団体等に、社会教育・生涯学習・会議・交流の場を提供し、公民館・地域交流館を地域の生涯学習拠点施設とする。自発学習・交流を通して、地域コミュニティの醸成を図り、社会教育・生涯学習の推進に努める。

3. 令和5年度公民館・地域交流館の事業概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行となり、公民館の利用者も増え、主催事業も順調に開催することができました。

また、各公民館等利用サークル連合組織が主体となって開催している「まつり」につきましても、施設の改修工事に伴い、本埜公民館及び中央駅前地域交流館の2館で中止となったものの、他館においては開催となりました。

なお、工事に伴うサークル活動の影響へは、他館を利用していただくなど、継続した活動の支援を行ったところです。

4. 公民館運営審議会

(1) 印西市公民館運営審議会委員名簿

任期 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

| 番号 | 氏名 | 区分 | 備考 |
|----|--------|---------|----|
| 1 | 門脇 英貴 | 学校教育関係者 | |
| 2 | 泉水 真由美 | 学校教育関係者 | |
| 3 | 佃 正男 | 社会教育関係者 | |
| 4 | 油原 紀子 | 社会教育関係者 | |
| 5 | 嘉藤 弘子 | 社会教育関係者 | |
| 6 | 富井 康夫 | 社会教育関係者 | |
| 7 | 松山 悦子 | 社会教育関係者 | |
| 8 | 矢野 忠行 | 社会教育関係者 | |
| 9 | 畑中由美子 | 社会教育関係者 | |
| 10 | 豊田 文子 | 社会教育関係者 | |
| 11 | 長尾さおり | 家庭教育関係者 | |
| 12 | 美馬 光美 | 家庭教育関係者 | |
| 13 | 常光 康介 | 学識経験者 | |
| 14 | 中嶋加奈江 | 学識経験者 | |
| 15 | 白井 豊 | 学識経験者 | |
| 16 | 小泉 雅由 | 学識経験者 | |

(2) 令和5年度 審議会開催日程

| 回 | 月 日 | 内 容 | 会 場 |
|---|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 令和5年 6月20日 (火) | 令和5年度第1回印西市公民館運営審議会 【報告事項】 ・令和4年度公民館・交流館事業報告について ・令和5年度公民館等事業計画について | 中央公民館 |
| 2 | 令和5年 10月31日 (火) | 令和5年度第2回印西市公民館運営審議会 【報告事項】 ・令和5年度上半期公民館等事業実施状況について 【審議事項】 ・令和6年度公民館等事業実施方針について | 中央公民館 |
| 2 | 令和6年 3月21日 (木) | 令和5年度第3回印西市公民館運営審議会 【報告事項】 ・令和5年度公民館等事業報告について 【審議事項】 ・令和6年度公民館等事業計画（案）について | 中央公民館 |

2 公民館

(1) 事業報告

中央公民館

小林公民館

そうふけ公民館

印旛公民館

本埜公民館

(2) 利用団体一覧

中央公民館利用サークル懇談会

小林コミュニティサークル連絡協議会

そうふけ公民館利用サークル協議会

印旛公民館利用サークル協議会

本埜公民館サークル連絡協議会

(3) 利用集計

公民館別利用者集計表

(4) 条例・規則

印西市立公民館の設置及び管理に関する条例

印西市立公民館の管理及び運営に関する規則

(1) 事業報告

中央公民館



【運営方針】

中央公民館では、市民が心身ともに健全で心豊かに、生涯にわたり学び続ける幅広い学習の場と機会を提供することを目標に、関係団体、学校や他の学習関連施設との連携・調整を図り、事業の展開を図っている。

また、市民に身近な学習の場として来館してもらえるよう、学習資料の提供や学習室の開放、また、市民の憩いの場、情報交換の場としてロビーの開放を行っている。

【施設概要】

名 称：印西市立中央公民館
所 在 地：印西市大森3934-1
開 館：昭和54年2月1日
敷地面積：4,874.01㎡
延床面積：2,680.55㎡
構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造
5階建て
駐車台数：62台



《令和5年度事業概要》

主催事業について、「子ども対象事業」4事業、「大人対象事業」5事業、「共催事業」2事業を計画していたが、大人対象事業は「シニア向けスマホ講座」1事業を追加し6事業の実施となった。

実施した事業のうち、特に子ども対象事業の「冬休み書き初め教室」では、予想以上の応募があり人気の講座となった。

また、個人学習支援事業として学習室を開放した。この他に、中央公民館利用サークル懇談会が主体となって開催している第40回となる「みなづき祭」では、コロナ禍以前と同規模での開催し、1,156人の来場者であった。

施設利用者数の推移については、令和4年度 20,504人、令和5年度 21,306人という状況だった。

●親子SDGs 学習ゲーム体験会

| | | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------|------------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 資源を使ってアイテムをゲットしてゆくというカードゲームを通して、「なぜ持続可能な社会を作る必要があるのか」、「持続可能な社会をつくっていくために必要な姿勢やマインド」について、親子で楽しみながら理解を深める。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学3年生～6年生と保護者） | | | | |
| 定員 | 12組24人 | | | | |
| 受講者数 | 18人 | | | | |
| 受講率 | 75% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月2日（日） | SDGs 学習ゲーム（ゲットザポイント）の親子体験会 | ソフトバンク株式会社 | 18人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | 今後の社会を担っていく子どもを中心に、カードゲームを利用しSDGsを学習した。講師からの説明と共に、親子であるいはチームで話し合いながらゲームを進め、持続可能な社会の必要性について理解を深め、関心を持った様子が見られた。 | | | | |

●子ども工作教室

| | | | | | |
|------|---------------------------------|--|--|--|--|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | モーターを使った風力車を制作しながら、「つくる」楽しさを知る。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学5年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 13人 | | | | |
| 受講率 | 65% | | | | |

| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------------|-----------|-----|
| | 1 | 7月23日(日) | モーターを使って走る風力車をつくる。 | 印西おもちゃの病院 | 13人 |
| 参加者合計 | 13人 | | | | |
| 講座を終えて | 今回は、「技術を要する作品づくり」としたため対象を高学年とした。同じ課題に取り組む中で、黙々と組み立てていく子、友達と助け合いながら進める子、講師にまるなげしてしまう子と様々であったが、全体としては細かな作業を楽しみながら取り組む姿が見られ、講座のねらいを達成できたと感じられた。 | | | | |

●子ども科学教室

| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------|--------------|-----|
| ねらい | 身近な材料を使って、電気の仕組みを理解し、作ることの楽しさ・技術を知る。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小学3年生～6年生) | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 10人 | | | | |
| 受講率 | 50% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月5日(土) | クリップモーターをつくる。 | (一財)関東電気保安協会 | 10人 |
| 参加者合計 | 10人 | | | | |
| 講座を終えて | クリップモーターを作る工程の中には難しい部分もあったが、全員が完成することができた。参加者からは「なぜ回転するか理解できたか」という会話もあり、楽しみながら電気の仕組みについて学習できた様子であった。 | | | | |

●冬休み書き初め教室

| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------|---------------|-----|
| ねらい | 日本の伝統文化に親しむ機会を設け、講師の指導を受けることで書道の上達を図る。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小・中学生) | | | | |
| 定員 | 第1回58人 第2回40人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回58人 第2回40人 | | | | |
| 受講率 | 第1回100% 第2回100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月24日(日) | 冬休みの課題である書き初めについて、講師の指導を受けながら練習する。 | 吉野 博 齊藤 文子 | 49人 |
| | 2 | 1月6日(土) | | 吉野 博 | 27人 |
| 参加者合計 | 76人 | | | | |
| 講座を終えて | 第1回は参加人数が多く、講師2人体制で行った。学校から出された冬休みの書き初めの課題について、学年毎での指導が中心であったが、その中でも参加者はコツをつかんだ様子で技術の向上も見られた。予想以上の応募があり、日本の伝統文化に親しむ機会の提供ができた。 第2回は第1回に比べ参加者がやや少なかった為、講師は1人で行った。内容は前回同様に、学年毎に | | | | |

| | |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>講師から指導を受けそれぞれに練習をし、いきいきとした書体が見られるなど技術の向上も多く見られた。</p> <p>全2回とも参加者が多くニーズの高さを感じた。日本の伝統文化に親しむ機会を多くの子ども達に提供できた事業であった。最後に参加者全員で作品を掲げたのは圧巻であった。</p> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

●いきいきカレッジ

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------------------|-----------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | <p>シニア世代が地域の歴史・健康な体づくり・心を豊かにする創作活動など「知」「徳」「体（栄養含む）」の総合的な学習を学ぶことにより、相互の関係性の理解を深め、どのように実践したら効果的なのか、生活改善のためのアイデアを考えてもらうきっかけづくりとする。</p> <p>また、講座を通して生きがいづくり・仲間づくりにつなげることなどにより、これからの人生を「生き生き」と過ごしていくことの支援を目指す。</p> | | | | |
| 対象 | 市内在住者（50歳以上） | | | | |
| 定員 | 16人（第3回は30人） | | | | |
| 受講者数 | 16人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月17日（水） | 知って得する生活習慣改善術 | 健康増進課職員 | 13人 |
| | 2 | 6月14日（水） | シニアのための「生き生き」生活術 | 高齢者福祉課職員 | 13人 |
| | 3 | 7月19日（水） | セカンドライフの収入と生活費 ※一般公開講座 | 日本証券業協会 | 14人 |
| | 4 | 9月20日（水） | 悪徳商法撃退術 | 消費生活センター | 13人 |
| | 5 | 10月18日（水） | リンパセラピー | 秋葉みどり | 9人 |
| | 6 | 11月19日（日） | 木下の歴史を歩く。 | ふるさと案内人協会 | 10人 |
| | 7 | 12月13日（水） | 勾玉をつくる。 | 西村 壇 | 12人 |
| 参加者合計 | 84人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回は特に中・高年が気になる生活習慣病について、予防のために食事・心と身体のリフレッシュ・運動のポイント・禁煙・歯と口腔について学んだ。</p> <p>第2回は理学療法士による講義で、日常の生活を制限されることなく、健康的な生活を送ることができる期間（健康寿命）をいかに延ばせるかを学んだ。フレイル（虚弱）を遠ざけることが重要になり、それには、栄養・口腔ケア・運動・社会参加がポイントとなるということであった。</p> <p>第3回は公開講座で行った。退職後の家計収支の把握の必要性・投資は当面使う予定がないお金で行う・少額投資非課税制度などについて学んだ。</p> <p>第4回は悪徳商法撃退術を学んだ。消費トラブルの実例が紹介され、とても参考になる内容であった。</p> <p>第5回はリンパの知識やそのマッサージ方法を学びながら、呼吸体操・ヨガストレッチなどを組み入れ、健康な体づくりを体験した。</p> <p>第6回は木下河岸を拠点とした物流により木下が最も栄えていた頃の様子を学ぶため、現在に残されたその歴史に関連の深い吉岡問屋、武蔵屋を見学した。公民館を出発し、まず干拓稲荷へ。通り過ぎてしまうような所にも干拓に関係している由緒がある木下河岸跡に立ってみて当時の様子は知ることはでき</p> | | | | |

| | |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>ないが、この地に河岸があったことを知ってもらうことができた。吉岡問屋や武蔵屋では当時の建物に歴史を感じながら木下河岸との関わりを学んでいる様子であった。</p> <p>第7回は古代アクセサリーの勾玉づくりを行い、ただの石から、砥石ややすりで削ることによって少しずつ丸みを帯び勾玉の形に変わっていく工程で、受講者の集中力も非常に高まり、創作意欲が感じられた。受講者それぞれ、大きさ、丸み、輝きの違う勾玉が出来上がり、歴史を学んだことも相まって、自分の作品の出来栄えに喜んでいる様子が伺え、ペンダントとして首にかけて帰られた方が多くみられた。創作活動として、十分に成果を上げられた。</p> <p>どの回も興味深く学んでいる姿勢が見られ、今後の生活に役立つと思われる。</p> |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

●体験講座 マットスに挑戦！

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------|--------------------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 筑波大学大蔵倫博教授が開発した脳トレ・エクササイズ「マットス」を体験することで、認知症の予防を図り、シニア世代の健康維持の一助とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（65歳以上） | | | | |
| 定員 | 50人 | | | | |
| 受講者数 | 24人 | | | | |
| 受講率 | 48% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月19日（金） | ペッパー君と一緒に簡単に楽しめる脳トレ運動「マットス」を体験する。 | 筑波大学 大蔵 倫博 教授 ソフトバンク株式会社 | 24人 |
| 参加者合計 | 24人 | | | | |
| 講座を終えて | 開講式では人型ロボットのペッパー君が競技の説明をしてくれた。参加者同士が考えながら、高得点を狙える『役』を狙ってのプレーもあり、歓声上がるほど夢中になっていた。この講座の目的である脳トレ・運動・仲間づくりの場を提供する事ができた。 | | | | |

●手賀沼講座—自然と歴史—

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 印西地域の歴史・社会・環境などを総合的に学び、自分たちが暮らす地域を理解し、ふるさと意識を育みながら、これからのまちづくりについて考える。 中央公民館に隣接する手賀沼流域河川を手がかりとして、総合的に学ぶことができるプログラムを編成し、継続した講座を目指す。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 14人 | | | | |
| 受講率 | 70% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月9日（土） | 手賀沼と私たちの地域 ～干拓と治水の歩み～ | 公民館職員 | 11人 |

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------|-------|-----|
| | 2 | 10月4日(水) | 手賀沼周辺の文学 | 佐藤 純夫 | 9人 |
| | 3 | 11月2日(木) | 手賀排水機場・北千葉導水路の見学 | 現地職員 | 11人 |
| | 4 | 12月2日(土) | 手賀沼周辺の人々の暮らし | 高野 博夫 | 9人 |
| 参加者合計 | 40人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回は干拓と治水のあゆみについて、利根川の東遷事業により、洪水の常襲地帯となった地域の中には印西も含まれており、その水との戦いの歴史について講義を行った。地元を知っていただくことの大切さ・難しさを感じた。</p> <p>第2回は文学だけではなく、文化全般にわたっての講義で、近代の手賀沼周辺の名産を文学になぞらえて学んだ。草深・吉高の桜まで話が及び、話に引き込まれている様子であった。受講者は、手賀沼に関する著作に残された名産を見ながら100年前の手賀沼を巡った。講師が参考にされた明治・大正期の書物を受講者が休み時間を利用し手にとって見るなど、とても興味を持って学ぶ姿が見られた。</p> <p>第3回は手賀排水機場で実際に稼働しているポンプを見ながら排水の仕組みを学び、とてもわかりやすく、また、民具を展示してある記念館では、受講生はそれぞれに話が弾んでいたようであった。北千葉導水ビジターセンターでは、ジオラマを見ながら利根川と江戸川を結ぶ北千葉導水路の水の流れを追えた。またポンプ室では、実際に坂川を通して江戸川に水を流しているポンプや管を見学。手賀沼の水を操作している2施設を見学し、こうした施設が自分達の暮らしと、どう関わっているか(洪水を防ぐ・水の浄化・供給など)を考えることができた。</p> <p>第4回は手賀沼流域の暮らしの変遷について、近世の手賀沼干拓の度重なる失敗・漁業権をめぐる村々の争い・国営手賀沼干拓計画等について講演を行った。受講生は、淡水漁試験場の誘致や開発計画の結末等、興味深く学んでいる様子であった。</p> <p>全体を通して地域の歴史を学び・感じ取り、今まで以上にふるさとをイメージできた様子であった。</p> | | | | |

●創作講座「彩りのある暮らし講座」

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------|---------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | <p>創作・工作などの作品作りを通して作る喜びを体感しながら、手作りの作品で生活に彩りを添える。</p> <p>また、自然の物に触れることのきっかけや手先を動かすことは、ストレス緩和や認知症予防につながるといわれており、それらの一助とする。</p> | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 第1回 18人 第2回 12人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 11人 第2回 8人 | | | | |
| 受講率 | 第1回 61% 第2回 67% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月16日(木) | ドライフラワーを使った飾りづくり | 茱本 祈子 | 11人 |
| | 2 | 12月6日(水) | 冬の寄せ植えづくり | 印西山野草の会 | 8人 |
| 参加者合計 | 19人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回は枯れ枝に再び命を吹き込む芸術である「技道」を体験した。味覚以外の視覚・聴覚・嗅覚・触覚を使い、自然の物から作品を生み出すことで、心身ともにリラックスしている様子であった。各々の個性が活かされた作品が完成し、参加者からは笑みがこぼれ、心や生活に彩りを添えられる時間を提供できた。</p> | | | | |

| | |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 第2回は竹で花器づくりから始めたが、非常に難しい作業であり大半の時間を要した。その後、カリン、松、竜のひげの向きを考えながら植え付けを行い、また、お正月が過ぎてからの育て方や水やりについて講師から説明があり、受講生は「育てる」ことを強く意識することができた。最後に、藁と紙垂で正月飾りをつくり、生活に彩を添える正月用寄せ植えが完成した。参加者は充実した時間を過ごし、満足された様子であった。 |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

●わたしと家族の「相続講座」

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-----------|------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 誰もが直面するであろう相続について、相続対策、自分の人生とエンディング、遺言、自分と家族の「争族」をさけるための基礎を学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 15人 | | | | |
| 受講者数 | 11人 | | | | |
| 受講率 | 73% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月13日(土) | 相続と争族のはなし | 明治安田生命保険 相互会社 | 8人 |
| 2 | 1月20日(土) | 最適な「MY ライフ&エンディング」を考える。 | 8人 | | |
| 参加者合計 | 16人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回はふたつの「そうぞく」相続と争族のはなしについて、講義をいただいた。「相続」については、相続人の確認・スケジュール・相続税の計算の仕方等の相続の基礎について、「争族」では争いに発展する財産の多くが不動産で金融資産が少ない等の、4ケースの例を示されて講義が進められた。講義終了後の質問では、基礎的な話だけでなく、もっと具体的な事が知りたいと、関心の深さを感じられることができた。</p> <p>第2回は残された者にいかに自分を伝えるか(主に遺産について)、エンディングノートの活用等を学んだ。自分を見つめ、現在の「自分について残しておく」作業を(どこの金融機関にどのような資産があるか、借入金、生前贈与、相続、身じまいリスト、葬儀について)考えていった。相続における生命保険の特徴等の説明も聞き、遺産相続に直面する前にやっておくべきことの必要性を学ぶことができた。</p> | | | | |

●シニア向けスマホ講座

| | | | | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | |
| ねらい | 印西市 DX 推進方針に掲げるデジタルデバインド(情報格差)対策の一環として、ソフトバンク株式会社の協力により、高齢者を対象とした初心者向けのスマホ講座を開催し、デジタル機器に関する教養技能の向上を図る。また印西市市民活動推進課の協力により「電話 de 詐欺」の防犯講話を実施し、防犯意識の高揚を図る。 | | | |
| 対象 | 市内在住者(50歳以上) | | | |
| 定員 | 20人 | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | |
| 受講率 | 100% | | | |

| | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------------------|----------------------------------------------|-----|
| プログラム | 1 | 2月 6日 (火) | 「電話 de 詐欺」の防犯講話 スマホ入門編 | (防犯講話) 市民活動推進課職員 (スマホ講座) ソフトバンク株式会社 | 14人 |
| | 2 | 2月13日 (火) | 基礎・LINE編 | ソフトバンク株式会社 | 20人 |
| 参加者合計 | 34人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回目は2部構成で実施した。前半の防犯講話では、「電話 de 詐欺」の発生状況や具体的な対処法について解説があった。参加者からは活発に質問が出され、関心の高さが伺われた。スマホを使い始める方々に対し、防犯意識の高揚を図ることができたものと思われる。後半はスマホ講座入門編を行った。操作方法について実演を交えながら説明がなされ、アシスタントが参加者の席を回りながら丁寧に対応しており、参加者も戸惑うことなく操作できていた。「次回も参加したい」という声もあり、好評であった。</p> <p>第2回目はスマホの基本操作に加え、近年様々な場面で使用されるようになったLINEの使い方について解説を行った。講師が操作方法を実演し、参加者が実際にLINEアプリを操作して使い方を学んだ。</p> <p>講座を通じて、スマホやSNSを実際に使うことで、実践的な使い方について理解が深まったものと思われる。また、参加者からは「ステップアップした講座も実施してほしい」という声もあり、スマホやSNSに幅広く関心を持つきっかけともなったと思われる。</p> | | | | |

●手賀沼船上親子観察会（手賀沼流域フォーラムと共催）

| 事業区分 | 共催事業 | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------------|-----------------------------------------------|-----|
| ねらい | 手賀沼について、環境啓発を行っている市民団体の手賀沼流域フォーラムとの共催で、手賀沼の環境・浄化対策について、座学だけでなく、六軒川・弁天川・手賀川の自然環境を船で実見し、自然環境の保全と共生について親子で考える機会を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） | | | | |
| 定員 | 16組32人 | | | | |
| 受講者数 | 16組32人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| プログラム | 1 | 7月30日 (日) | 親子で六軒川・弁天川を船で巡り 手賀沼の自然環境を観察する。 | (講義) 印西水と暮らしを守る会 (乗船体験) NPO法人印西市観光協会 | 32人 |
| 参加者合計 | 32人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>座学だけでなく船上視察も行ったことで、より興味を持って楽しく学んでいる姿が見られた。講師からは外来種植物による環境破壊の話もあり、事業後のアンケートには、「小学校低学年でも可能ならば駆除活動に参加したい」などの感想もあった。十分に講座のねらいは達成されたようであり、こうした活動の『芽』をどのように育てていけるか、次の事業へ繋げていければ良いと感じた。</p> | | | | |

●Let'sサークル体験 夏休みは公民館へGo！（中央公民館利用サークル懇談会と共催）

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 共催事業 | | | | |
| ねらい | 中央公民館利用サークル懇談会と共催で、夏休みの期間を活用し、小・中学生に希望するサークル活動に参加し、体験する機会を提供する。中央公民館利用サークルと地域の子供たちとの世代間交流の場を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小・中学生） | | | | |
| 定員 | — | | | | |
| 受講者数 | 2人 | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月 | 公民館で活動しているサークルに地域の子供たちが参加して、サークル活動を体験する。 | 各サークル | 0人 |
| 参加者合計 | 0人 | | | | |
| 講座を終えて | 中央公民館利用サークル（11サークル）の協力を得て準備を始めたが、受講希望者は2人のみで、実施日当日は受講者の体調不良により中止となった。受講希望者が非常に少なく、企画内容等について考え直す必要があると感じた。 | | | | |

《中央公民館講座の様子》



▲子ども工作教室



▲SDGs



▲手賀沼講座



▲マットスに挑戦



▲いきいきカレッジ



▲冬休み書き初め教室

《団体育成事業》

各サークルが自主的かつ円滑な学習が行えるよう可能な限りの指導・支援を行った。中央公民館利用サークル懇談会に対しても、運営等の指導・助言を行ったが、2サークルが退会し、加盟サークル数は26サークルとなっている。なお、活動成果の発表の場である、中央公民館利用サークル懇談会が主催する「みなづき祭」は、コロナ禍以前と同規模での開催となった。

《個人学習支援事業》

学習室を個人学習・共同学習の場として開放し、公民館をより身近な施設として感じてもらうと共に、学習資料の提供により学習支援の推進を図った。

《貸館事業》

市民が自発的に学習し、ふれあいの輪を広げその成果や効果を社会還元して地域醸成するための場として施設の提供を図った。社会教育関係団体、地域の自主活動団体、福祉団体等に学習、会議、交流の場を提供し適正で健全な公民館運営に努めた。

小林公民館



【運営方針】

小林公民館は、小林駅圏に生活する市民を主な対象とし、社会教育・生涯学習活動、芸術文化活動、地域コミュニティ活動の場・機会を提供することを主な事業目標として運営している。

また、小林公民館では、市民の学習ニーズを把握し、地域コミュニティの醸成に配慮した社会教育・生涯学習機会の提供を基本として、事業の展開を図っている。

【施設概要】

名称：小林コミュニティプラザ

- ・小林公民館
- ・小林図書館
- ・小林出張所

所在地：印西市小林北5-1-6

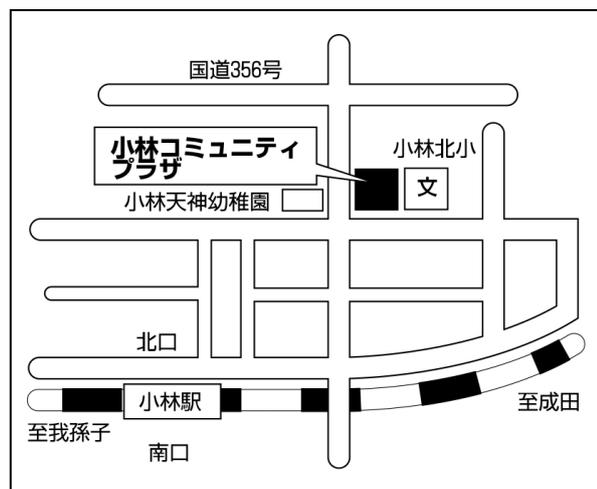
開館：平成7年5月1日

敷地面積：3,146.71㎡

延床面積：2,073.68㎡

構造：鉄筋コンクリート 2階建て

駐車台数：49台



《令和5年度事業概要》

小林公民館は、令和4年10月から令和5年9月までの保全改修工事が完了し、令和5年10月から事業を実施した。

主催事業について、当初、「大人対象事業」5事業を計画していたが、その後、「大人対象事業」1事業、「子ども対象事業」2事業を追加し実施した。

また、小林コミュニティサークル連絡協議会が主体となって開催している「小林コミュニティプラザまつり」をサークル発表会という内容で実施した。

個人学習支援事業としては、公民館事業に支障のない範囲で学習室を開放した。

施設利用者の推移については、令和3年度16,882人、令和4年度9,480人、令和5年度10,222人という状況だった。

《主催事業》

●小林コミュニティプラザ再開館イベント

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------|----------------------------|-----|
| 区分 | 大人対象事業・子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 令和4年10月から行われていた小林コミュニティプラザ保全改修工事が終わり、令和5年10月1日から再開館となった。再開館を記念しイベントを実施することで利用促進を図る。 | | | | |
| 対象 | 小林地区在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 70人 | | | | |
| 受講者数 | 22人 | | | | |
| 受講率 | 31% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月25日(土) | 『小林親子読書会かたつむり』による朗読劇や『カラフルスタイル』による演奏を行う。 | ・小林親子読書会かたつむり ・カラフルスタイル | 22人 |
| 参加者合計 | 22人 | | | | |
| 講座を終えて | 今回は、再開館を記念したイベントとしたことで小林地区の方を対象とし、施設利用者に対して施設内や屋外掲示板でのポスター掲示やチラシの配布などで情報提供をしたが、なかなか集客が上がらず残念であった。 しかし、参加者である子供達やその保護者も朗読劇を見入ったり、歌の演奏では一緒に歌ってみたりと楽しそうな雰囲気の中、あっという間に時間が過ぎていったように感じ、記念イベントとして良い内容であったと思う。 | | | | |

●クリスマス会

| | |
|------|-----------------------------------------------|
| 事業区分 | 子ども対象事業 |
| ねらい | 絵本の読み聞かせ、素話しゃハンドダンスなどを通して情操を育み、季節の楽しい思い出をつくる。 |
| 対象 | 幼児・小学生と保護者 |
| 定員 | 60人 |
| 受講者数 | 27人 |

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-----|
| 受講率 | 38% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月9日(土) | 公民館の定期利用団体である『小林親子読書会かたつむり』が、絵本の読み聞かせ、素話しやハンドダンスを披露し、参加者と楽しい時間を過ごす。 | 小林親子読書会かたつむり (公民館定期利用サークル) | 27人 |
| 参加者合計 | 27人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>予定参加者を23名としていたが、当日参加者4名を加えた27名で行った。</p> <p>小林親子読書会かたつむりが行う、絵本の読み聞かせ、素話し、ハンドダンスに加え、手遊びうたや折り紙を使った遊びなど様々なジャンルの演目を行ってもらい、より参加者には楽しんでもらえたように思える。最後には、プレゼントを持ったサンタクロースが登場し、「おおー！」という歓声の中、参加してくれた子供たちにプレゼントを配ることができ、良い思い出作りになれたと思う。</p> | | | | |

●フラワーアレンジメント講座

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------------------------|------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | フラワーアレンジメントの基本、作り方、手法を学び、全体的な形を各々のイメージに合わせて季節感のある作品を作り、心豊かな充実した花のある生活空間を楽しむ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 16人 第2回 16人 | | | | |
| 受講率 | 第1回 100% 第2回 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月20日(土) | 季節のフラワーアレンジメント (春の訪れ編) | 榎 倫子 | 16人 |
| 2 | 2月10日(土) | 季節のフラワーアレンジメント (バレンタインBOX編) | 16人 | | |
| 参加者合計 | 32人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>ラウンド型の技法を学び、作品を作る過程で講師への質問も多く熱心な受講生が多かった。春に向けて色とりどりの花を見る・触る効果もあり、穏やかで明るい空気が満ちた講座となった。講師のアドバイスで仕上がった自分の作品に誰もが満足し、お互いの作品を見合う様子も見られた。</p> | | | | |

●リンパセラピー講座

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | リンパの知識を学びながら自分で出来るリンパマッサージ、ヨガストレッチ、呼吸体操などを組み入れて健康な体づくりを体験する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 19人 第2回 20人 | | | | |
| 受講率 | 第1回 95% 第2回 100% | | | | |

| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------|--------|-----|
| プログラム | 1 | 2月18日(日) | リンパマッサージ、ヨガ、ストレッチなどを総合的に取り入れ、リンパの流れの大切さを知る。 | 秋葉 みどり | 19人 |
| | 2 | 2月25日(日) | | | 20人 |
| 参加者合計 | 39人 | | | | |
| 講座を終えて | 参加者は日常生活に取り入れやすいリンパの流し方を学び、実践することで免疫機能を高め、心身ともにリンパの流れの大切さを知ることができ、健康的な身体づくりを満足しているようであった。数名の受講生からは、とても身体に良いのでサークル化に向けて進めていけると良いという意見があった。 | | | | |

●ピラティス講座

| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------|--------|-----|
| ねらい | 胸式呼吸を用いながらストレッチを中心とした動きで、身体の筋肉をしなやかで丈夫に鍛える運動を体験し、健康的な身体づくりを目指す。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 19人 第2回 14人 | | | | |
| 受講率 | 第1回 95% 第2回 70% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| プログラム | 1 | 1月14日(日) | 心肺機能の向上と背骨の柔軟性を強化するためのエクササイズを行う。 | 土井 さやか | 19人 |
| | 2 | 1月21日(日) | | | 14人 |
| 参加者合計 | 33人 | | | | |
| 講座を終えて | きれいでしなやかな身体を作る為には、お腹を常に意識しながら胸式呼吸でストレッチをする。受講生にとって、呼吸法が難しかったようだが、徐々にコツを掴んで熱心に取り組んでいた。終了後、ピラティスをもっと学びたいという声が多く聞かれた。 | | | | |

●終活講座

| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------|------------------|-----|
| ねらい | 終活をしている方とそうでない方では、人生のエンディングの迎え方に大きな違いがあると言われていいる。自身も家族もみんなが幸せになるように、また、「相続」が「争族」にならないように「生活と締めくり」について考える。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 30人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 13人 第2回 9人 | | | | |
| 受講率 | 第1回 43% 第2回 30% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| プログラム | 1 | 3月1日(金) | 基礎から学ぶ相続対策 | 明治安田生命 保険相互会社 | 13人 |
| | 2 | 3月8日(金) | これからのこと、家族に託したいもの、残したいもの・・・記録の仕方 | | 9人 |
| 参加者合計 | 22人 | | | | |

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講座を終えて | <p>この度の終活講座は、平日の日中に2週連続で行ってみた。ターゲットとして見込んでいた年齢層の応募も想定していたよりも少なかったのが残念ではあったが、受講者は熱心に参加していただき良い講座になったのではないと思う。また、講師の計らいにより、終活の内容ばかりではなく、血管年齢測定や野菜摂取量を測定できる機材を用意して頂き、和やかな時間も過ごせた。</p> <p>今後は、開催時期の変更などを行い、もっと集客できるように検討していきたい。</p> |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

●みんなでつくる！小林アンプラグドミニミニコンサート

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|----------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 小林公民館利用サークルのうち音楽関係サークルに対して、気軽に発表の機会を提供するとともに、地域で音楽活動をする個人や団体に対しても発表の機会を与え地域の交流を図る。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | — | | | | |
| 受講者数 | — | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月15日(水) | ロビーコンサート | カラフルスタイル | 14人 |
| | 2 | 12月20日(水) | ロビーコンサート | カラフルスタイル | 12人 |
| | 3 | 1月17日(水) | ロビーコンサート | カラフルスタイル | 13人 |
| | 4 | 2月21日(水) | ロビーコンサート | カラフルスタイル | 13人 |
| | 5 | 3月6日(水) | ロビーコンサート | カラフルスタイル | 15人 |
| | 6 | 3月13日(水) | ロビーコンサート | 齋藤 和夫 | 10人 |
| 参加者合計 | 77人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>再開館後、コロナ化前の観覧者数に戻ってきているように見受けられる。小林地域を活性化しようと小林地区の市民が作詞して作られた「小林のうた」・「ふるさと小林」は、地域のうたとしてだいぶ親しまれてきた。観覧者は地域の60代から80代の方が多く、昭和時代の曲目が中心である。コンサートの形式をリクエスト式に変えたことにより、皆で歌ったり、その当時に語り合ったりし、全体に和やかな良い雰囲気である。地域の情報交換の場、交流の場にもなっている。</p> <p>新規の出演者、コンサートのお知らせも含め、HPの活用も必要である。</p> | | | | |

●展示ギャラリー

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業区分 | — |
| ねらい | <p>公民館の1階ロビーを使用して、芸術・文化の振興及び支援を目的とした展示場所を提供する。</p> <p>展示する作品は、公民館の定期利用団体に限定せず広く一般市民にも展示場所を提供し、制作した作品の展示・発表を行っていく。</p> |

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|----------|-----|
| 対象 | 定期利用団体・一般団体・市内在住者 | | | | |
| 定員 | — | | | | |
| 展示団体数 | 2団体 | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月10日(日) ～ 12月24日(日) | トールペイント作品展示 (クリスマスモニュメント) | マラライサークル | — |
| | 2 | 1月20日(土) ～ 2月3日(土) | 油彩画の作品展示 | 小林洋画クラブ | — |
| 参加者合計 | — | | | | |
| 講座を終えて | <p>展示をすることにより、日頃のサークル活動の内容や成果を来館者に鑑賞してもらう良い機会となった。</p> <p>市民に展示ギャラリー（展示ケースや壁面の利用方法）の周知を広めることが必要と思われる。</p> | | | | |

《小林公民館講座の様子》



▲ピラティス講座（初級編）



▲リンパセラピー講座



▲季節のフラワーアレンジメント



▲終活講座



▲アン普拉グドミニミニコンサート

《団体育成事業》

各サークルが自主的かつ円滑な学習が行えるよう指導・支援を行った。

また、小林コミュニティサークル連絡協議会が主体となって行うサークル活動の成果発表としての場である「小林コミュニティまつり」を実施した。

《個人学習支援事業》

公民館事業に支障のない範囲で学習室を開放し、個人学習に対する支援を行った。利用対象者は児童・生徒に限定せず、より多くの皆さんが利用できるよう配慮し学習の場の提供を行った。

《貸館事業》

地域の生涯学習拠点施設として、また、地域コミュニティの醸成のため、地域住民、町内会、学校をはじめ各種団体など、広く利用の促進を図った。社会教育関係団体、地域の自主活動団体、福祉団体等に学習や交流等の場を提供するとともに、健全な公民館運営に努めた。

そうふけ公民館



【運営方針】

そうふけ公民館は、印西牧の原駅圏内の生涯学習の拠点として、「新たな文化の創造」を目標に事業を展開している。

事業の推進にあたっては、「いつでも、どこでも、誰でもが」を基本方針に、市民の学習意欲が高まるような子ども対象事業、共催事業、団体育成事業、個人学習支援事業、貸館事業を実施している。

このほか、市民のさまざまな学習ニーズに対応するため、窓口等において情報の提供及び事業支援を行っている。

【施設概要】

- 名 称：印西市ふれあい文化館
- ・そうふけ公民館
 - ・そうふけ児童館
 - ・そうふけ図書館
 - ・そうふけ老人福祉センター

所在地：印西市原3-4

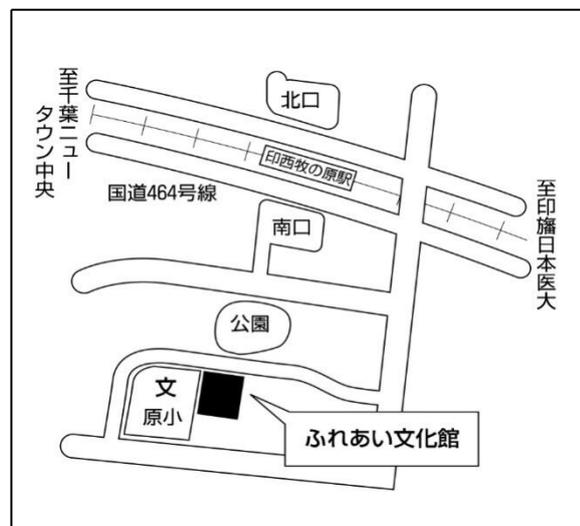
開 館：平成10年12月1日

敷地面積：4,000.01㎡

延床面積：3,674.49㎡

構 造：鉄筋コンクリート
3階建て（地下1階）

駐車台数：44台



《令和5年度事業概要》

主催事業について、当初計画では「子ども対象事業」4事業、「大人対象事業」2事業「共催事業」1事業を計画したが、「子ども対象事業」1事業追加して実施した。

子ども対象事業（共催事業）の「プラネタリウムで星をみよう」では、移動プラネタリウムによる7メートルのドーム内で星空観察をし、天体観測に興味を持ってもらえる目玉の事業となった。申込方法については、ちば電子申請サービス先着順で受付しスムーズに事務処理を行うことができた。

大人対象事業「スマホ講座」では、人気が高くアンケートから全員60歳代以上で、半数は70歳代の方の参加となり、内容についてもわかりやすく、また開催してほしいという要望が多くあった。

施設利用者については、令和4年度は28,210人、令和5年度は38,898人という状況だった。

●なんでもチャレンジャーズ

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------|---------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 学年や学校が異なる児童たちに対し、さまざまな体験を通して、自分で考え行動すること、仲間と協力すること、楽しく行うことを学んでもらう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月15日（土） | 開講式、ドラムピース～打楽器であそぼう～ | 健康増進課職員 | 8人 |
| | 2 | 8月24日（木） | 北総鉄道車両基地見学 | 北総鉄道職員 | 18人 |
| | 3 | 11月18日（土） | お正月のしめ飾り作り | 愛郷クラブ | 9人 |
| | 4 | 12月16日（土） | K-POPにのって運動遊び 修了式 | 保育課職員 | 9人 |
| | 5 | 中止 | AED講習 | | |
| 参加者合計 | 44人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回目ではジャンベ（太鼓）をたたくことで、自己の発散、人とのつながり、自己表現の楽しさを味わうことができた。ねらいでもある、地域間や学年を超えた交流を深める場としてスタートできたのではないかな。</p> <p>第2回目では個々の興味の差がみられたが、普段見学することのできない鉄道車両の洗車等を体験し、スマートフォンやカメラ持参の許可をいただいていたので、講座で友達になった仲間と撮影する場面もあり、仲間づくりの深まりを実感することができた。</p> <p>第3回目お正月のしめ飾り作りでは、日本の伝統文化を体験できる良い機会であったが、仲間づくり、交流という観点からは、最後に作品を見せ合う時間を作れば良かった。</p> <p>第4回の運動遊びでは、名前を呼び合いグループで活動することで、子どもたち同士交流の持てた活動</p> | | | | |

| | |
|--|-----------------------------------------------------|
| | だった。4回シリーズの今事業は、忙しい小学生の実態から来年度は単発事業として行うのが良いのではないか。 |
|--|-----------------------------------------------------|

●科学あそび

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 身近な材料を使って科学を学べる工作や実験を行い、楽しみながら科学を学ぶ。また科学体験を通して新たな発見や物づくりの楽しさ味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学3年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 16人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月27日（木） | 楽しみながら科学を学ぶ工作、実験をする。 | 松田 治久 | 15人 |
| | 2 | 中止 | 夏休みの自由研究のヒントになるような科学体験や工作を学ぶ。 | - | - |
| 参加者合計 | 15人 | | | | |
| 講座を終えて | 「バランスとんぼ」「おきあがりこぼし」「やじろべい」の工作をとおして、実験の楽しさを味わうことができた。大人とは違う発想力に感心させられた。 | | | | |

●自然科学体験

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------|-----------------|----------------------------|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 自然科学を体験し楽しさを学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） | | | | |
| 定員 | 午前の部50人・午後の部50人 | | | | |
| 受講者数 | 午前の部50人・午後の部49人 | | | | |
| 受講率 | 午前の部100%・午後の部98% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月1日（火） | 移動プラネタリウムによる星空見学 | つくば科学 万博記念財団 | 午前の部 46人 午後の部 44人 |
| | | | | | |
| 参加者合計 | 90人 | | | | |
| 講座を終えて | ちば電子申請サービスによる先着順受付でスムーズに受付することができた。多目的室にドームを設置し、暗い中でも不安がるお子さんはいなかった。夏の大三角についての星空見学をしたが、低学年には難しい内容だったかもしれない。プラネタリウムを身近に体験できる事業として非常に好評だった。 | | | | |

●工作教室

| | |
|------|---------|
| 事業区分 | 子ども対象事業 |
|------|---------|

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------|--------|-----|
| ねらい | 工作を通じて、創造性や独創性を養い、子どもたちに作る喜びを感じてもらう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 16人 | | | | |
| 受講率 | 80% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 大人対象事業 へ移動 | トールペイントの絵付け体験を通して手芸の手法を学ぶ。 | 明保能 勝江 | - |
| | 2 | 7月22日（土） | よく飛ぶ紙飛行機の作り方を学び、できた紙飛行機の飛行実験をする。 | 吉村 龍雄 | 11人 |
| 参加者合計 | 11人 | | | | |
| 講座を終えて | 3種の紙飛行機を作り、全員で飛ばしてチャンピオンを選んだ。 「すごくよくとぶ紙飛行機を作ろう」のタイトルで募集をし、「すごく」の部分は自分で工夫したり試したりの方の努力の部分で、すごくよく飛ぶ飛行機になったことの体験事業となった。 | | | | |

●体験講座

| | | | | | |
|-------|-------------------------------|---------------|--------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 自分で絵手紙を作るといふ、普段できない体験を楽しみ、学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 大人対象事業 へ移動 | 絵手紙の下書きから絵付け体験をする。 | 嘉藤 弘子 | - |

●ふれあい大会

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------|-----------------|-------------|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 親子のふれあいを目的にスポーツを楽しむ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） | | | | |
| 定員 | 親子10組 | | | | |
| 受講者数 | 親子10組 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月2日（土） | スポーツによるふれあい大会（モルック）を親子で楽しむ。 | 船穂・そうふ け支部社協 | 親子7組 14人 |
| 参加者合計 | 親子7組 14人 | | | | |
| 講座を終えて | モルックというスポーツはあまりなじみがなく楽しめるか心配だったが、社協の方が1人ずつチームに入ってルールを遊びながら教えてくれたので大変盛り上がった。必ずしも親がうまいとは限らない競技なので、そこが親子で楽しめた要因かもしれない。室内競技は天気にも左右されることなく良かった。 | | | | |

●おはなし会スペシャル

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------|-----------------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 絵本の読み聞かせをすることで、物語の楽しさを感じてもらう。 | | | | |
| 対象 | 3歳から小学生低学年、またはその保護者 | | | | |
| 定員 | 70人 | | | | |
| 受講者数 | 70人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 3月2日(土) | 人形劇・パネルシアターを観る。 | 市内読書団体 りんごの木 | 60人 |
| 講座を終えて | 図書館で整理券を配布し、1週間で定員に達した。図書館ボランティアのよるエプロンシアター・大型絵本・素話・人形劇等、7演目の内容だった。少々時間が長くなってしまったが、内容は見ごたえのあるものだったので、休憩等を入れながら楽しめるものにしていきたい。 | | | | |

●生活改善講座

| | | | | | |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------|--------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 日常生活での収納改善、自身の体調改善方法及び高齢期の健康づくりについて学び、生活改善について考える機会を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 収納講座20人・スマホ講座(入門編)20人・スマホ講座(基礎・LINE体験)20人 | | | | |
| 受講者数 | 収納講座20人・スマホ講座(入門編)20人・スマホ講座(基礎・LINE体験)20人 | | | | |
| 受講率 | 収納講座100%・スマホ講座(入門編)100%・スマホ講座(基礎・LINE体験)100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月6日(水) | 収納・片づけ方法を学ぶ家事編 | 遠藤 和美 | 20人 |
| | 2 | 1月11日(木) | スマホ講座(入門編) | ソフトバンク | 17人 |
| スマホ講座(基礎・LINE体験) | | | 株式会社 | 18人 | |
| 参加者合計 | 55人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>収納講座ではパワーポイントでの説明で、事例も豊富でわかりやすかった。</p> <p>参加者同士の話し合いもあり、自由に質問したり和やかな雰囲気が進められた。募集にあたり締切1週間前には定員になり、関心の高い事業と確認できた。</p> <p>スマホ講座では、電話での申し込みが多く、特に「基礎・LINE編」においては関心が高くスマホの台数も限られていることもあり、初の抽選となった。キャンセル待ちが15人いたが、苦情もなく2人繰り上げ当選となり参加案内することができた。7人が①②の講座を通して参加した。</p> <p>アンケートより全員60代以上で半数は70代であった。全員広報誌より開催情報を得ていたことがわかった。内容についてもわかりやすく、また開催してほしいという要望が多かった。</p> | | | | |

●体験講座

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|--|--|--|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 心と体の健康を保つ大切さを学び、日常生活を改善するきっかけとする。 | | | | |

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------------------------|--------|----------|
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | トールペイント16人・ ストレッチ&健康体操21人・ 絵手紙20人・ バレンタインに和スイーツ①11:00~ 7人 ②13:00~ 7人 | | | | |
| 受講者数 | トールペイント16人・ ストレッチ&健康体操21人・ 絵手紙20人・ バレンタインに和スイーツ①11:00~6人 ②13:00~7人 | | | | |
| 受講率 | トールペイント100%・ ストレッチ&健康体操100%・ 絵手紙100%・ バレンタインに和スイーツ①11:00~86% ②13:00~100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月13日(水) | トールペイント体験。ペン立てにアクリル絵の具で絵付けをした。 | 明保能 勝江 | 16人 |
| | 2 | 10月19日(木) | 簡単な体操と健康を保つポイントを習う。(ストレッチ&健康体操) | 佐々木 優子 | 16人 |
| | 3 | 11月28日(火) | 絵手紙の下書きから絵付け体験 | 嘉藤 弘子 | 18人 |
| | 4 | 2月14日(水) | ビーツで色付けしたあんを絞ってお花を作り、もち米の上に飾る。 | 橋本 有香 | 5人 7人 |
| 参加者合計 | 62人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>トールペイントでは熱心に取り組み、出来上がったペン立ては個々の味があり、達成感の持てた事業となった。アンケートからも集中しながらも楽しい時間が持てたと、リピートの声が多数だった。</p> <p>ストレッチ&健康体操では、参加者の年代にあった選曲にあわせ、ゆったりした雰囲気の中で、指導していただいた。1回のみでなく、複数回希望という声がアンケートからも多数確認でき、健康に関心のある年代層の講座は、反響が高いことが確認できた。</p> <p>絵手紙を描いてみようでは、それぞれに出来上がった作品をホワイトボードに掲示し互いの作品を見合うことができた。どれも個性がありいい出来栄であった。短時間で絵手紙を仕上げることができ、達成感が持て、感想からも高評価であった。材料費を徴収し絵の具セットを持ち帰れたことで、家に帰ってから自分なりの年賀状を描くことができるので良かったのではないかと。</p> <p>バレンタインに和スイーツでは、大切な人へのプレゼント企画として計画した。参加者は、デコレーションの花づくりに苦戦していたが、クオリティーの高い作品となり、達成感が持てたようだった。</p> <p>公民館事業として広く市民を募集する事業としては、7人という定員は少なかった。</p> | | | | |

《そうふけ公民館講座の様子》



▲なんでもチャレンジャーズ「運動遊び」



▲絵手紙を描いてみよう「年賀状」



▲ふれあい大会「モルック」



▲スマホ講座「入門編・LINE 編」



▲おはなし会スペシャル



▲トールペイントにチャレンジ

《団体育成事業》

各利用サークルが自主的かつ円滑に、生涯学習や社会教育活動が行えるよう指導・支援を行った。そうふけ公民館利用サークル協議会団体が加入した。

なお、そうふけ公民館利用サークル協議会が主体となって、活動成果の発表の場である「ふれあい文化館まつり」は、令和4年度は規模を縮小し実施したが、令和5年度は通常開催することができた。

《個人学習支援事業》

学習室を個人学習の場として開放し学習支援の推進を図った。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月に5類へ移行したことにより、6月以降は徐々に利用者が増えた。

《貸館事業》

市民が自発的に学習し、ふれあいの輪を広げ、その成果や効果を社会還元して地域醸成するための場として施設の提供を図った。社会教育関係団体、地域の自主活動団体、福祉団体等に学習、会議、交流の場を提供し適正で健全な公民館運営に努めた。

学習支援同様、利用者数は増加傾向にある。

印旛公民館



【運営方針】

印旛公民館は、印旛地区の生涯学習の拠点として、子どもから高齢者まで、幅広い年代を対象に事業を展開している。

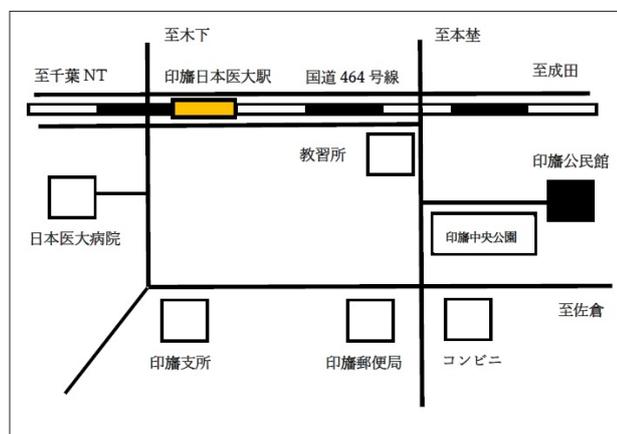
主要事業として、子ども・大人対象事業、及びサークル支援事業を軸として、社会教育や生涯学習に関する情報を積極的に発信し、市民に多種多様な学習活動への糸口及びその活動促進の場を提供している。

また、目前にテニスコートや野球場、多目的広場などの多彩なスポーツ施設も隣接しているため、スポーツの合間や終えた後の交流の場ともなっている。

このように印旛公民館は、市民密着型の“親しみやすい公民館”を目指すとともに「学びの場」、「憩いの場」、「ふれあいの場」として日々活動している。

【施設の概要】

名称：印西市立印旛公民館
所在地：印西市瀬戸1518
開館：昭和51年10月1日
敷地面積：11,005㎡
延床面積：1,844㎡
構造：鉄筋コンクリート
2階建て
駐車台数：70台



《令和5年度事業概要》

主催事業については、「こども対象事業」6事業、「大人対象事業」9事業を当初計画のとおり実施した。

個人学習支援事業として、学習室を開放している。この他に「印旛公民館サークル協議会」が主体となって行っている「いんば公民館まつり」を4年ぶりに開催した。

施設利用者数の推移については、令和3年度7,386人、令和4年度5,614人、令和5年度10,899人という状況だった。

●親子カヌー教室

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------|-----------------|-----------|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 印西市民に最も身近な水辺である印旛沼の近くの平賀小学校のプールで、親子でカヌーの操縦に挑戦する。午前は小学1年生～3年生と保護者・午後は小学4年生～6年生と保護者を対象に2部制で行い、親子で絆を深めつつ、自然と触れ合う大切さと喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） （午前の部は小学1年生～3年生と保護者、午後の部は小学4年生～6年生と保護者） | | | | |
| 定員 | 各部10組20人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回（午前の部） | 9組18人 | 第2回（午後の部） | 7組14人 | |
| 受講率 | 第1回（午前の部） | 90% | 第2回（午後の部） | 70% | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月8日（土） ※午前の部 | 実際にカヌーに乗って操縦の方法を学び、自然と触れ合う大切さと喜びを分かち合う。 | I S Jカヌー 同好会 | 9組 18人 |
| | 2 | 7月8日（土） ※午後の部 | | | 7組 14人 |
| 参加者合計 | 32人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>運動に関する内容であったことから関心が大きく、数日で定員に達したが、キャンセルが多く例年の参加者数より少なくなった。事業当日は、子ども達の水の事故を防ぐために、準備体操を念入りに行い、救命胴衣（ライフジャケット）をつけ、カヌーに乗る前の指導（パドルの使い方・カヌーの乗り方等）が、親子と同好会会員とのマンツーマンで行われた。</p> <p>次に、子どもたちだけがカヌーに乗り、指導員の指示に従ってプールの中で実際の漕ぎ方を教わった。続けて保護者の方と交代して、同じくカヌーの漕ぎ方を教わった。次に親子ごとに2つのグループに分かれて、一緒にプールのなかを漕いで回った。慣れないうえに強風だったので小さな衝突が結構あったが、指導員の皆さんのおかげで転覆もなく怪我人も出なかった。</p> <p>最後に、カヌーを滑車（通称スライダー）に乗せて、人が乗ったままプールに飛び込む体験を、2グループに分けて指導員や保護者の協力のもと行った。着水時の大きな水しぶきを、乗っている人だけでなく見ている人も楽しんでいた。また、救命胴衣（ライフジャケット）をつけたままプールへ入り、体が浮く感触をつかんでもらった。参加者の皆様からは、カヌーに本格的に乗りたい、次回も参加したいという感想が多く寄せられた。</p> <p>なお、I S Jとは平成9年（1997年）に同好会が設立された際に関係があったI（印旛村教育委員</p> | | | | |

| | |
|--|-------------------------------------|
| | 会)、S(酒々井町教育委員会)、J(順天堂大学)の3つの頭文字である。 |
|--|-------------------------------------|

●夏休み工芸教室

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 自分の手でオカリナ(土笛)や竹細工(竹かご)を作りあげることで、創意工夫を促し、豊かな感性を養い、ひとつの工芸作品を作り上げる喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小学生) (小学1年生～3年生の場合は工作の難易度が高いため、保護者の付き添いを要する) | | | | |
| 定員 | 各部10人 | | | | |
| 受講者数 | オカリナの部 9人 | | 竹細工の部 9人 | | |
| 受講率 | オカリナの部 90% | | 竹細工の部 90% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月29日(土) ※オカリナの部 1日目 | 粘土を使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、粘土を固めてオカリナの形を作り上げる。形が出来上がった翌日まで1日置いて乾かす。 | 間野 政勝 | 9人 |
| | 2 | 7月30日(日) ※オカリナの部 2日目 | 前日に作ったオカリナの原型に穴を開けて、穴の大きさで奏でられる音の高低を調整し、ひとつのオカリナを作り上げる。 | | 9人 |
| | 3 | 8月5日(土) ※竹細工の部 | 約20本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることでひとつの竹かごを作り上げる。 | | 9人 |
| 参加者合計 | 27人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>最初のオカリナの部では、1日目と2日目の工程が少しアンバランスで、1日目はやや早く終わってしまうため、作業が終わった後は、講師のオカリナで、演奏の練習をしたりオカリナの話をしたりしていた。覚えの早い子は、およそ十数分で音階が吹けるようになっていた。</p> <p>吹き口(1日目)と指穴(2日目)を開けるのは、オカリナの音が出るかどうかの重要な作業のため、大人に頼りたい子どもと、できるだけ自分で作らせたい保護者のやりとりが、見ている微笑ましく感じられた。普段、工作に携わる機会が無いのか、子どもより保護者が積極的になる場面も見られた。オカリナに関する質問は保護者からの方が多かった。</p> <p>竹細工の部では、竹ひごを編むところから大変難しいようで何度もやり直してかなり苦戦しているようだったが講師の指導や保護者の助言で皆完成させることができた。</p> <p>低学年の子が中心だったので全体的に大人しい、控え目だったのに対し、付き添いの保護者達のほうが熱心なぐらいだった。親子で協力して作業しているのは良かった。</p> <p>講師の方が竹をナタで割って竹ひごを作る実演を行った際、使われたナタに刃は無かった。竹を切るのではなく「竹の繊維を剥がす」ことで、多くの本数の竹ひごを作っていくという説明を聞いた際には、全員が深く感心してその工程に見入っていた。</p> <p>最後に竹で作ったへらを渡して、竹を割って竹ひごを作る体験学習を行った。うまくできて喜んでいる姿が見られて良かった。竹を互い違いに編んでいく工程は、やや難しいようであった。竹には色で緑色と黄色の2種類があるが、前者を「青竹」、後者を「白竹」という。それぞれの竹の先を5本ずつ束ねて入れ込んでゆく工程は大人でも難しく、講師の方の手助けは不可欠であった。それでも皆が試行錯誤を</p> | | | | |

| | |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>続け、時間内に全員完成することができた。講師の説明も的確であった。</p> <p>1つ1つの工程が、小学校低学年の参加者には難しいように思われたが、親子が手伝って作品を完成することができた。</p> <p>また、アンケートを見る限り参加者の皆様は充実した時間を過ごせたように感じられた。</p> |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

●夏休み科学教室

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 小学生の理科離れが叫ばれて久しい中、身近にある材料を使い、理科を楽しく学べる工作物を作り上げ、理科の面白さを再認識する。また、自分の手で工作物を創作することで、創意工夫を促し、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 29人 | | | | |
| 受講者数 | 29人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月19日（土） | カラーセロハンを使ってスタンドガラスを作ることで、それがどのように作られていくのかを理解するとともに、ひとつの工作物を作り上げる喜びを味わう。 | 日本大学 理工学部教授 大久保 尚紀 | 29人 |
| 参加者合計 | 29人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>事業当日、材料等はあらかじめ机にセットして、講師の紹介とあいさつをして開始となった。作り方は、モニターで説明後、レーザーカッターでカットしてあるハロウィンの台紙に裏から両面テープを貼って行く。そこにカラーセロハンを貼り、絵柄によってくり抜き別の色のセロハンを貼ったり、くり抜かずの上から重ね貼りをしたりして色の変化を楽しむ。貼り終わったら、ラミネーターに通し圧着して周りを切り取り完成。</p> <p>デザインカッターの力の入れ加減が難しく、強く力を入れすぎると台紙まで切れてしまい、逆に弱すぎるとセロハンも切れない為、ちぎってしまう子が多数。</p> <p>Halloweenの文字やお城の窓部分などのセロハンの色を変えて、こだわりを持ってつくった自分だけの作品に満足げであった。参加者はみな完成品をうれしそうに笑顔を見せて持って帰ったことが印象的だった。参加者の皆様からは面白かった、科学に関心を持ったという感想が多く寄せられた。</p> | | | | |

●てっぺん目指そう筑波山

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 親子で筑波山に登りながら自然と触れ合う喜びを味わう。良好な自然環境を保つ大切さを学び、頂上まで登って達成感を味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） | | | | |
| 定員 | 29人 | | | | |
| 受講者数 | 29人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |

| | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------|-----|-----|
| プログラム | 1 | 10月21日(土) | 筑波山に登る 周辺の自然とふれあいながら頂上を目指す。 | 職員 | 29人 |
| 参加者合計 | 29人 (子ども15名、大人14名、計14組) ※子ども2人、大人1人の組が1つ | | | | |
| 講座を終えて | 参加者の親子は、「筑波山を甘く見ていた。こんなに辛いとは思わなかった。でも親子で登れたのは楽しい。」等の感想があった。今回の参加者は、集合時間に遅れることがなかったので、予定通り事業ができた。けが人もなく終了できることができた。登山の時期については、紅葉が始まる前だったが、かなり登山客で混んでいた。参加者には、帰りのケーブルカー集合時間前に並んでいただいた。ケーブルカー乗り場も混んでいた。登山客が多い中で、誰一人ケガなどなく事業が終了したことが良かった。 | | | | |

●親と子のおはなしワークショップ

| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------|--------|-----|
| ねらい | 印西市において古くから伝わる民話の「素話」を通して、地域がたどってきた歴史を知るとともに、地元への思いを育む。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小学生と保護者) | | | | |
| 定員 | 10組20人 | | | | |
| 受講者数 | 7人 | | | | |
| 受講率 | 35% | | | | |
| | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| プログラム | 1 | 12月2日(土) | 素話の読み聞かせ 印西市に古くから伝わる歴史に思いをはせる | 素話ささの会 | 7人 |
| 参加者合計 | 7人 (子ども3名、大人4名、計3組) | | | | |
| 講座を終えて | <p>まず民話「松虫姫」を素話で語る実演をしていただいた。感情の込め方、間の取り方、見事なもので、皆、聞き入っていた。</p> <p>次に、物語の内容と用意した物語の背景となっている現在の写真を見ながら説明していただき、保護者の方も熱心に聞いていた。</p> <p>次に、何組かに分かれて、物語の読み方(話し方)について指導を受けた。人数が少なかったため、保護者の方も入ってもらい、最後に「松虫姫」をパートごとに読み上げる発表をし、皆楽しんでいる様子だった。</p> <p>残念なことに親子3組しか集まらなかったが、偶然皆知り合いであり、和気あいあいとやることができた。指導員の皆さんのおかげで子供たちも楽しそうで、保護者の皆さんからも大変いい感想を聞くことができた。</p> <p>講師の皆様からも、少人数だったけれど喜んでもらえたと、良い体験ができたとお言葉をいただいた。</p> | | | | |

●冬休み書初教室

| | | | | | |
|------|-----------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化である書道を通して、伝統文化に触れる重要性を学ぶとともに、心の平静と集中を高め、ひとつの作品を完成させることの喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小学3年生～6年生) | | | | |

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|--------|-----|
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 16人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月16日(土) | 書道の練習、清書 | 徳久 和歌子 | 16人 |
| 参加者合計 | 16人 | | | | |
| 講座を終えて | 指導を受けながら練習している子供さんの作品を見て、短時間の間に上達したと、見学していた保護者の方が話していたのが印象的だった。 講習の時間が3時間と長かったので疲れた子もいたが、講師や助手の方々が明るい会話を交えながら、熱心に指導していただいた。おかげで終始明るい雰囲気、楽しそうだったのが何よりであった。 | | | | |

●みんなのいけばな教室

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化である生け花を通して、礼儀や作法の向上を図るとともに、四季に思いを馳せて心に癒しを感じられるように理解を深める。また、お正月向けの草花を生けることにより、日本らしい新年の迎え方を見直す。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 各回20人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 8人 | 第2回 | 20人 | | |
| 受講率 | 第1回 40% | 第2回 | 100% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月31日(水) | 春から初夏に見頃を迎える草花を使い、自然のままの美しさを実際に目にする喜びを感じると共に、ひとつの生け花の作品を作り上げる喜びを味わう。 | 池田 美枝子 | 8人 |
| 2 | 12月27日(水) | お正月に向けて華やかな草花を生けることで、年始を彩り豊かに楽しい気分で過ごすと共に、日本らしい新年の迎え方を味わう。 | 20人 | | |
| 参加者合計 | 28人 | | | | |
| 講座を終えて | 5月31日に使用した花材はカーネーション、スターチス、タニワタリの3種類、12月27日に使用した花材は正月のお花ということで毎年ヤナギ、松、菊、カーネーションの4種類を使い花を生ける。オアシスをペットボトルに入れ不織布を巻きリボンなどで飾りをつける。その後、講師の説明等を聞き花を生ける。花に対する興味が高く、原産はどこだろう？この色が今流行りだなどの意見が聞かれ、講師は一つずつ丁寧に教えていた。生けおわった人から他の人の花を順に見比べ感想を述べあうなど参加者の交流の場となった。 | | | | |

●初心者のための絵手紙教室

| | | | | |
|------|------------------------------------------------|--|--|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | |
| ねらい | 絵手紙の描き方を学ぶと共に、自分が見たものを感情に素直に描き出す。教室の参加者同士の親睦を深 | | | |

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------|------|-----|
| | める。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 10人 | | | | |
| 受講者数 | 5人 | | | | |
| 受講率 | 50% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月10日(土) | この時期に見頃を迎える草花や身近なものを題材として、ありのままの美しさを描き出すとともに、絵手紙の基本的な描き方を学ぶ。 | 石原 修 | 5人 |
| | 2 | 6月17日(土) | 前回に引き続き、この時期に見頃を迎える草花を題材として、ありのままを描き出し、絵手紙の基本的な描き方を学ぶ。 | 石原 修 | 3人 |
| 参加者合計 | 8人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回は、参加者の皆様はまず講師から絵手紙についての説明があり、その中でも重要な「線」の書き方から実践に移った。線の濃淡や揺らぎなど、何度も練習を繰り返しても思うような線が描けず悪戦苦闘する様子が見られ、参加者の真剣な思いが伝わってきた。次に、講師が用意した「ピーマン」を見ながら、台紙の上のはがきに描き、色を付ける。簡単だと思われた墨汁の薄め方や絵の具のにじませ方なども思った以上の量の水が必要で、なかなか色が薄まらなかった。</p> <p>第2回目は、講師が用意したドクダミのデッサンから始める。前回のおさらいも兼ねて色の重ね方や薄め方などの指導があった。次に、絵手紙に推す印章の作成を行った。消しゴムを切り、苗字・名前のいずれか1字を、カットしたサイズに合わせてトレッシングペーパーにデザインし、それを写しカッターで掘るが、陰刻(文字だけ彫る)と陽刻(文字の周りを彫る)について説明があり、両方作っていただいたが、陰刻の方が初心者向きようだった。逆さ文字に少し苦戦しているようであったが、試しに押ししてみるときちんと読める字になっていて、喜びの声が聞かれた。</p> | | | | |

●癒しのアロマ

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | アロマセラピーの基本を学びながら、自然の草花の香りを通して心と体の内面を安定させることの大切さを学ぶ。また、心の状態が体の健康に深く結びついていることへの理解を深める。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 各回10人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 8人 | | 第2回 8人 | | |
| 受講率 | 第1回 80% | | 第2回 80% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月28日(水) | 植物の精油に含まれる有効成分や刺激物質などを学び、安全に利用することで心身の不調をやわらげる。1人1人好みの香りを使い自分だけの作品をつくり、参加者どうしの交流を円り充実感を感じる。 | 前田 美紀 | 8人 |
| | 2 | 2月21日(水) | | | 8人 |

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参加者合計 | 16人 |
| 講座を終えて | <p>(6月実施)</p> <p>講師は精油の使い方だけではなく、植物の蒸留水を作ることに長けているようでラベンダー以外の蒸留はできるかの質問にも答えていただき注意点なども挙げていただいた。</p> <p>蒸留装置に興味を持ち、購入して自宅にたくさんあるドクダミを蒸留して肌荒れやかゆみ止めなどに使いたいといった具体的な考えを持った参加者の方もいた。</p> <p>(2月実施)</p> <p>自宅のハーブがたくさんあり、虫よけや飲み物用につかうエキス(ハーブチンキ)を作りたいといった具体的な考えを持った参加者もあり初心者とはいえ深い知識をお持ちの方もいた。</p> <p>(精油についての注意)</p> <p>精油には日光によって肌に刺激を与える成分(光毒性)を含んでいるものがあり、屋外に出るときなどはシミになったりするので注意が必要。また妊産婦も過敏な状態の為、気を付けるようにと話があった。</p> |

●自力整体教室

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 整体治療とは異なり施術を受けるのではなく、自分で慢性的な不調を改善して、病気の予防を目的とした自己治療法を学ぶ。また、体の状態が健康に深く結びついていることへの理解を深める。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 15人 | | | | |
| 受講率 | 75% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月13日(水) | 自分の体で、どここの部分の調子が悪いのかを見極める。自分の体と向き合いながら、ツボを刺激したり、筋肉をほぐしたりして、自然に体を治す力を高めていく。 | 秋田 美智子 | 15人 |
| 2 | 9月20日(水) | 前回と同様のことを行いつつ、自分自身で身体の歪みやコリをなくして手入れする方法を学び、心身のバランスを整え、健康な体にしていく。 | 13人 | | |
| 参加者合計 | 28人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>講師のイメージの伝え方が楽しく「昔の反抗期を思い出して足をゆらしてください」には会場から笑いが起こり、雰囲気も和やかに楽しくできた。</p> <p>講師には、毎回参加者分の輪っかタオルを用意していただいたり、個別に対応もしていただき、きめ細やかな指導に感謝したい。</p> | | | | |

●はじめてのyoga

| | |
|------|--------------------------------------------------|
| 事業区分 | 大人対象事業 |
| ねらい | ヨガ(yoga)の基本を学びながら、心と体の内面の安定を感じるとともに、メンタルバランスの重要性 |

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
| | について学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 12人 | | | | |
| 受講率 | 60% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月27日(水) | ヨガの基本を学びながら、参加者同士親睦を深める。無理をせず、自分の内面と向き合う時間を意識する。 | 佐藤 洋子 | 12人 |
| | 2 | 10月4日(水) | 前回の内容に引き続き基本的な動きを学ぶと共に、前回と同様に、無理をせず、落ち着いて行うことを意識する。 | | 12人 |
| | 3 | 10月18日(水) | これまでの講座と比較してやや難易度の高い姿勢に挑む。無理をせず、自分の内面と向き合い、心の安定を意識する。 | | 12人 |
| | 4 | 10月25日(水) | まとめとして、これまでの講座で学んできた姿勢を復習し、自分の内面とどれほど向き合えたかを考える。姿勢を作る際には、無理をせずに心の安定を意識してできたかを考えながら行う。 | | 11人 |
| 参加者合計 | 47人 | | | | |
| 講座を終えて | 講師の方がポーズの最中も常にヨガ(yoga)に関する話をさせていただき、和やかな雰囲気が進められ、特に中断することもなかった。参加者から「体の調子がよくなった」「引き続き教えてもらいたい」等の感想が寄せられ、ヨガ(yoga)の楽しさや体への効果を実感できた有意義な講座となった。 | | | | |

●おとなの工芸教室

| | | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 自分の手で工作物(竹かご)を創作することで、創意工夫を促し、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 10人 | | | | |
| 受講者数 | 10人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月25日(土) | 約30本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることで、ひとつの竹かごを作り上げる喜びを味わう。 | 間野 政勝 | 10人 |
| 参加者合計 | 10人 | | | | |
| 講座を終えて | 竹細工は派手ではなく、大変難しい作業だが、平面的な竹ひごから立体的なかごを組み上げていくことで、伝統の技術とものづくりの楽しさを体験してもらえたと思う。今は大人の皆様ですら竹に触れる機 | | | | |

| | |
|--|-------------------------------|
| | 会は少なく、皆様にとっては良い体験の場になったと思われる。 |
|--|-------------------------------|

●相続学習教室

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------|------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 最近の社会全体で関心が高まっている相続について、無用な争いをしないためにはどうすればよいのかを学び、知識を整理して今後の人生の一助とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 11人 | | | | |
| 受講率 | 55% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月30日(木) | 相続について曖昧であった知識を整理し、無用な争いをしないためにはどうすればよいのかを学び、今後の人生の一助とする。 | 明治安田生命 保険相互会社 | 11人 |
| 参加者合計 | 11人 | | | | |
| 講座を終えて | 参加者全員が真剣に聞き入っているところからも関心の高さが伺えた。終了後のアンケートからは「良かった」という嬉しい声が多数ある一方、「相続する側の話よりされる側の話が聞きたかった。」との意見もあり内容の検討、募集要項の見直しが必要と感じた。 | | | | |

●竹灯り作り

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------|-----|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 竹林の整備で伐採した竹を有効活用して工作物(竹灯ろう)を創作する。年末に開催することで正月用の飾りにでき、使用後は竹炭にもできる。このことから、参加される皆様の創意工夫を促すだけでなく、自然資源を有効に活用することによって、良好な自然環境を維持することの重要性を学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 12人 | | | | |
| 受講者数 | 9人 | | | | |
| 受講率 | 75% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月6日(水) | 1本の竹を1節ずつ分け、表面にデザイン画を貼り付け、ドリルで穴を開け、中に光源を入れて完成させる。 | 職員 | 9人 |
| 参加者合計 | 9人 | | | | |
| 講座を終えて | 一節ずつに切り分けた竹とデザイン画3種類から各一つ選んでもらい、竹にデザインを貼り付け、穴をあけていく。その後、LEDキャンドルライトを配布し点灯。一度、全員の竹を一か所に並べ鑑賞する。カーテンを閉め暗くすると拍手が上がった。 最後に満足感があつたか聞いてみると拍手があり、参加者の気持ちにも灯りがともったようだ。また、他の人と見比べ感想を述べあうなど交流も見られたように思う。 | | | | |

●雪割草の苔玉づくり

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 雪割草を使って苔玉を創作する。年明けに開催することで春を待つ観賞用の飾りにできる。このことから、参加される皆様の創意工夫を促すだけでなく、苔玉を育てることで花を咲かせることもできるため、苔の魅力を感じてもらう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 9人 | | | | |
| 受講率 | 45% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月30日(火) | 雪割草を使って苔玉を作る。それを参加者の手で育てて、花を咲かせた苔玉を完成させる。 | 奥田 利風 | 9人 |
| 参加者合計 | 9人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>初めに、講師の前に集まり説明を交えながら雪割草の苔玉の作製を一通り見学した後作業に入った。</p> <p>まず、竹筒の外側に楕円になるようミズゴケを巻き、固めるように糸で巻いていく。</p> <p>次に雪割草をポットからだし、土を取り除き根をかき分け中心部分にミズゴケを補填しさらに根全体にも、竹筒を抜いた時にできる穴の大きさになるまで巻き付ける。</p> <p>竹筒に巻いたミズゴケから竹筒を引き抜き、開いている穴に雪割草をねじこむように入れ、隙間があるようなら竹べらでミズゴケを補充していく。</p> <p>最後に上からハイゴケで覆い糸で巻いていく。</p> <p>作製過程の糸で苔を巻き付けるところは、説明を聞く限りでは簡単に思えたが、実際にやってみると、難しく、力の加減、糸の方向や切り方など分からないところが出てくるたび講師に対応していただく。</p> <p>説明や参加者との会話もテンポよく、楽しく苔玉づくりができたとの声が聞かれた。</p> | | | | |

《印旛公民館講座の様子》



▲親子カヌー教室



▲夏休み工芸教室



▲おとなの工芸教室



▲冬休み書初教室



▲自力整体教室



▲みんなの生け花教室

《団体育成事業》

各サークルが自主的かつ円滑な学習が行えるよう可能な限りの指導・支援を行った。なお、コロナ禍の影響から2団体は、活動を自粛している。

また、印旛公民館サークル協議会に対して運営等の指導・助言を行った。加盟サークル数は、前年度と比べて同数の15サークルとなっている。また、印旛公民館利用サークル協議会が主体となって開催する、活動成果の発表の場である「いんば公民館まつり」は4年ぶりに開催することができた。

《個人学習支援事業》

1階閲覧室を個人学習室として開放し、公民館をより身近な施設として感じてもらえるよう学習の場の提供を行った。

《貸館事業》

市民が自発的に学習してふれあいの輪を広げ、その成果や効果を社会に還元して、地域の文化を醸成するための場として提供した。また、社会教育関係団体、地域団体、福祉関係団体等に学習、会議及び交流の場を提供した。

本埜公民館



【運営方針】

本埜公民館は、本埜地区の生涯学習、生涯スポーツの拠点として、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が利用できる施設です。

また、同敷地内にはナイター付テニスコート、野球場などのスポーツ施設があり、施設利用の相乗効果とともに交流の場となっている、本館は、「共に学び・共に楽しむ場」、「ふれあいの場」、「交流の場」として社会福祉の増進を目指している。

【施設概要】

名 称：印西市立本埜公民館

所 在 地：印西市中根1375

開 館：平成9年4月1日

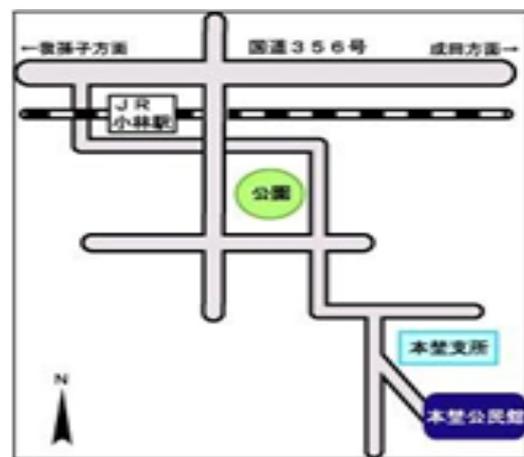
敷地面積：2,518㎡

延床面積：3,723㎡

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート
4階建て

駐車台数：48台

※本埜スポーツプラザ駐車場



《令和5年度事業概要》

本埜公民館は、令和5年10月から令和7年3月まで保全改修工事に伴う休館のため、当該期間の事業実施は無く、令和5年4月から9月において事業を実施した。

主催事業について、当初計画では「子ども対象事業」5事業、「大人対象事業」1事業を企画し、実施した。

また、個人学習支援事業として公民館事業に支障のない範囲で学習室を開放した。なお、本埜公民館サークル連絡協議会が主体となって開催していた「本埜公民館まつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度に引き続き中止とした。

施設利用者の推移については、令和3年度 13,337、令和4年度 14,100人、令和5年度 7,298人という状況だった。

●子ども和太鼓教室（低学年コース）

| | | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学1年生～2年生） | | | | |
| 定員 | 12人 | | | | |
| 受講者数 | 12人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月25日（日） | 太鼓で遊ぶ、リズムに合わせて身体を動かす | 出山 敦生 | 12人 |
| 参加者数 | 12人 | | | | |
| 講座を終えて | 子ども和太鼓教室は3年連続で中止となっていたが、今年度は無事に実施することができた。最初の準備体操が終わった後、リズムに合わせて、『歩き』、『小走り』、『スキップ』など、先生の手拍子に合わせて動きながら太鼓を叩いた。講座終了後、子どもたちや保護者からも大変好評だった。 | | | | |

●子ども和太鼓教室（中高学年コース）

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------------------------|----------|------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学3年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 12人 | | | | |
| 受講者数 | 8人 | | | | |
| 受講率 | 67% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月25日（日） | 基本的な動作、色々なリズムで打つ | 出山 敦生 | 8人 |
| 参加者数 | 8人 | | | | |

| | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講座を終えて | 終始、子どもたちが非常に落ち着いていたため、スムーズに太鼓の練習に入ることができた。一通り太鼓の練習が終わった後は、最後に輪になって、先生の叩く太鼓のリズムに合わせて、移動しながら太鼓を叩く練習をした。「太鼓のリズム感がよい」と、保護者からも大変好評をいただいた。 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

●子ども生け花教室

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化である生け花を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） | | | | |
| 定員 | 10人 | | | | |
| 受講者数 | 7人 | | | | |
| 受講率 | 70% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月 1日（土） | 生け花の基本を学びながら表現力を養う | 菊地 愛子 | 7人 |
| 2 | 7月 8日（土） | 7人 | | | |
| 参加者数 | 第1回 7人 第2回 7人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>各回ともにハサミの扱い方、花の切り方、挿し方、花材の説明等が行われ、実際に器に挿してみた。</p> <p>1回目は高さのある花器を使用して横にも広がりのあるアレンジメントを学んだ。花に高低差をつけることで、バランスよく活ける事が出来た。</p> <p>2回目は、四方から見える生け方を学んだ。花を深く挿したり、浅く挿したりで高低差をつけバランスよく生けた。各回とも一人ひとりの個性が表われ、素敵な作品に仕上がった。</p> <p>先生から、『修了証書』が渡され、終了となった。</p> | | | | |

●わくわくスポーツ教室

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------------------|-------------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 楽しく遊びながら運動能力等を伸ばせるコーディネーショントレーニングを実施。適応力や柔軟な考え方の育成につながり、発達が著しい時期に運動技能や能力を伸ばす。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 18人 | | | | |
| 受講率 | 90% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月 2日（日） | 小学生のためのコーディネーショントレーニング | 順天堂大学 学生 | 18人 |
| 参加者数 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | 順天堂大学の学生の指導により、音楽を使った運動やボールを投げたり、鬼ごっこをしたり、楽しみながら身体を動かした。参加者や保護者より「すごく楽しかった」、「来年もぜひ参加したい」などの声を頂くことができ、大変好評だった。 | | | | |

●ふるさと再発見

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|--------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 本郷地域に残されている豊かな自然環境を子どもから大人まで多くの市民に紹介していく。身近な動植物と触れ合い、自然環境への関心や理解を深める機会を提供するとともに環境保全意識の向上に寄与する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） | | | | |
| 定員 | 各回20人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 | 20人 | 第2回 | 13人 | |
| 受講率 | 第1回 | 100% | 第2回 | 65% | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月8日（土） | ホテル観察会 | 里山の会 | 20人 |
| | 2 | 7月16日（日） | 蝶とトンボの観察会 | E COMO | 13人 |
| 参加者合計 | 33人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>ホテルの観察会は4年ぶりの開催ということもあり、里山の会エコモの方々からも無事に開催できてよかったなどの声を聞くことができた。参加者の方からもホテルの光を見つけると喜びの声が聞こえ、参加して良かったなどの声を頂くことができた。</p> <p>蝶とトンボの観察会も里山の会 ECOMO の方々を中心に、蝶やトンボをはじめ、様々な昆虫を楽しんで観察することができ、大変好評だった。</p> | | | | |

●楽しく学ぶ！認知症予防講座

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------|--------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | セカンドライフを安心して暮らすために、認知症対策について楽しく学び、生きがいづくり、健康づくりの一助とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 15人 | | | | |
| 受講者数 | 11人 | | | | |
| 受講率 | 73% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月9日（水） | 認知症を理解し、最適な「マイライフ&エンディングノート」を考える。 | 明治安田生命相互保険会社 | 11人 |
| 参加者合計 | 11人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>今年度は、1回という形で実施し、参加者11名での実施となった。内容は、1時間弱の講義が主だったが、途中でクイズのような形で参加者に声をだして答えてもらうなどの形で進められた。</p> <p>参加者の方々も、講義を聞いている間、しきりにメモをとるなどして、熱心に講義を聞いている様子だった。講義の最後のほうになると、スクリーンに映し出されたいくつかのパターンの図形が示され、講師の先生がいくつかの図形を連続して言い、それぞれのパターンに合わせて両手を動かしたり、声を発するなどの反射神経を高める練習もした。受講者の方々からは大変好評だった。</p> | | | | |

《本埜公民館講座の様子》



▲子ども和太鼓教室



▲わくわくスポーツ教室



▲子ども生け花教室



▲ふるさと再発見（ホタル観察会）



▲ふるさと再発見（蝶とトンボの観察会）



▲楽しく学ぶ！認知症予防講座

《団体育成事業》

各利用サークル等が自主的かつ円滑な学習が行えるよう可能な限りの指導・支援を行った。なお、活動成果の発表の場である、本埜公民館サークル連絡協議会が主催する「本埜公民館まつり」は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として中止とした。

《個人学習支援事業》

公民館運営に支障のない範囲で施設を開放し、自主的な学びの場を提供することで、公民館をより身近な施設として感じてもらえるよう、また、比較的利用の少ない青年層への浸透を図った。

《貸館事業》

市民が自発的に学習し、ふれあいの輪を広げ、その成果や効果を社会還元して地域醸成するための場として提供した。また、社会教育関係団体、地域の自主活動団体、福祉団体等に学習、会議及び交流の場を提供した。

(2) 利用団体一覧

印西市立中央公民館利用サークル懇談会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|------------------|----------|----------------|------------------------------|-----|
| 1 | 印西ウインドアンサンブル | 吹奏楽 | 毎週水・土 | 18:00~21:00 | 41 |
| 2 | 印西山野草の会 | 山野草栽培・研究 | 隔月第3土 | 18:00~20:00 | 11 |
| 3 | 印西写楽 | 写真 | 第3土 | 13:00~17:00 | 7 |
| 4 | 印西太極拳同好会 | 太極拳 | 毎週火・日 | 9:00~12:00 | 26 |
| 5 | 印西盆栽愛好会 | 盆栽栽培・研究 | 不定金 | 9:00~15:00 | 21 |
| 6 | 絵てがみの会 | 絵手紙 | 第3土 | 10:00~12:00 | 6 |
| 7 | おむすび会 | 家庭料理 | 第4金 | 9:00~14:00 | 13 |
| 8 | カトレア ヨガの会 | ヨーガ | 第1~4金 | 14:00~16:00 | 6 |
| 9 | カレイナニ フラブルメリア | フラダンス | 第1~4木 | 13:00~17:00 | 15 |
| 10 | 木下手賀野俳句会 | 俳句 | 第3日 | 13:00~17:00 | 8 |
| 11 | きおろし囃子保存会 | 囃子 | 第2・4土 | 19:00~21:00 | 7 |
| 12 | 健康呼吸法の会 | 丹田呼吸法 | 毎週金 | 10:00~12:00 | 10 |
| 13 | 健康体操サークル | 健康体操 | 第1・3水 | 9:00~13:00 | 21 |
| 14 | コール・ミモザ | 女性コーラス | 第1~4水 | 9:00~12:00 | 11 |
| 15 | コール・ルピナス | コーラス | 第1・3・4木 | 9:00~13:00 | 5 |
| 16 | こすもす短歌会 | 短歌 | 第3日 | 10:00~13:00 | 8 |
| 17 | 彩々会 | 絵画 | 第1・3日 | 13:00~16:00 | 3 |
| 18 | ささのは会 | 素和 | 第1木 | 13:00~17:00 | 6 |
| 19 | 自力整体サークル | 自力整体 | 第2・3・4金 | 13:00~17:00 | 25 |
| 20 | 水辺短歌会 | 短歌 | 第1日 | 13:00~16:00 | 8 |
| 21 | チェリー | 楽器・歌の練習 | 第2火 | 13:00~17:00 | 6 |
| 22 | 陶遊会 | 陶芸 | 第1・3火 第2・4水 | 9:00~16:00 | 10 |
| 23 | トナ会 | 自己啓発 | 第3水 | 10:00~12:00 | 15 |
| 24 | バルーンアートサークル ピッコロ | バルーンアート | 第1水・不定日 | 水12:00~17:00 日 9:00~12:00 | 23 |
| 25 | ミックスジュース | エアロビクス | 毎週木 | 10:00~13:00 | 5 |
| 26 | ヨガ友サークル | ヨーガ | 毎週水 | 19:00~21:00 | 5 |

小林コミュニティサークル連絡協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|--------------|----------|--------|-------------|-----|
| 1 | あじさいの会 | 大正琴 | 第2・4水曜 | 9:00~13:00 | 5 |
| 2 | 小林カラオケ華の会 | カラオケ | 第2・4金曜 | 13:00~17:00 | 10 |
| 3 | リングング・ハート | ミュージックベル | 第1・3木曜 | 9:00~12:00 | 12 |
| 4 | さくらコーラス | 合唱 | 第1・3木曜 | 13:00~16:00 | 17 |
| 5 | マーガレットの会 | 健康体操 | 毎週水曜 | 10:00~12:00 | 12 |
| 6 | 小林貯筋サークル | 健康体操 | 毎週火曜 | 9:00~12:00 | 52 |
| 7 | 小林太極拳同好会 | 太極拳 | 毎週土曜 | 9:00~12:00 | 14 |
| 8 | 小林親子読書会かたつむり | 読書活動 | 第2水曜 | 10:00~12:00 | 15 |
| 9 | 小林石友会 | 囲碁 | 毎週土曜 | 13:00~17:00 | 16 |
| 10 | 秋桜会 | 日本画 | 第2・4木曜 | 13:00~17:00 | 6 |
| 11 | 小林洋画クラブ | 洋画 | 第1・3土曜 | 13:00~17:00 | 15 |
| 12 | 絵てがみの会 | 絵手紙 | 第2土曜 | 14:00~16:00 | 7 |
| 13 | 小林パソコン同好会 | パソコン | 毎週金曜 | 9:00~12:00 | 13 |
| 14 | 印西歴史愛好会 | 歴史研究 | 第3日曜 | 10:00~12:00 | 20 |
| 15 | 印西太極拳 牧の里クラブ | 太極拳 | 第2~4木曜 | 10:00~12:00 | 7 |
| 16 | 小林シニア男声合唱団 | 合唱 | 第1・3金曜 | 13:00~15:00 | 16 |

印西市立そうふけ公民館利用サークル協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|------------------------|-----------------|----------------|-------------------|-----|
| 1 | グルッポサノ | ストレッチ体操・フラメンコ | 第1～4火曜 | 13:00～17:00 | 14 |
| 2 | エアロナオミ | エアロビクス | 第1～4木曜 | 10:00～12:00 | 17 |
| 3 | キャンパスの会 | 油絵 | 第1～4金曜 | 9:00～13:00 | 13 |
| 4 | 山百合短歌会 | 短歌 | 第2木曜 | 10:00～13:00 | 12 |
| 5 | 生花倶楽部 | 生け花 | 第2・4木曜 | 10:00～13:00 | 8 |
| 6 | 印西市ユニカール協会 | ユニカール | 毎週金曜 | 13:00～16:00 | 27 |
| 7 | ダンベル&フィットネス | ダンベル体操 | 第1～4木曜 | 13:00～15:00 | 13 |
| 8 | 印西絵手紙の会 | 絵手紙 | 第2・4火曜 | 9:00～13:00 | 13 |
| 9 | サークル桐 | 箏 | 第2土曜 | 9:00～13:00 | 10 |
| 10 | 千葉ニュータウンフィルハーモニーオーケストラ | オーケストラ | 土曜か日曜 (月4回) | 13:00～17:00 | 25 |
| 11 | ハーラウフラカレイナニレフア | フラダンス | 第1～4金曜 | 9:00～11:00 | 14 |
| 12 | ミュージカルカンパニー「いちごハウス」 | ミュージカル | 第1～5日曜(月4回) | 13:00～17:00 | 65 |
| 13 | Ace印西 | ダンス | 第1～4水曜 | 18:00～21:00 | 15 |
| 14 | フローラルデザイン | ワンストローク・ペインティング | 第1・3火曜 | 13:00～16:00 | 6 |
| 15 | ハーラウフラカレイナニロケラニ | フラダンス | 第1～4金曜 | 10:00～13:00 | 7 |
| 16 | Ace#3 | ダンス | 第1～4水曜 | 16:00～18:00 | 17 |
| 17 | ドラムピース | 打楽器リズム遊び | 不定期 土曜(月1回) | 9:00～12:00 | 5 |
| 18 | ダンシングキャッツ草深 | モダンバレエ・ヒップホップ | 不定期 水曜(月3回) | 16:00～20:00 | 12 |
| 19 | 1st(ファースト) | キッズダンス | 不定期(月2回) | 18:00～20:00 | 16 |
| 20 | 円グループ | 太極拳 | 第1・2水曜 | 10:00～12:00 | 26 |
| 21 | 空手道無限勇進会 印西支部 | 空手 | 第1～5水土日曜 | 曜日により 午前・午後・夜間 | 26 |
| 22 | ミックス・ナッツ(ムスアップ教室OB会) | 健康体操 | 毎週火曜 | 9:00～11:00 | 15 |
| 23 | Ace #4 | ダンス | 毎週土曜 | 17:00～21:00 | 48 |

印西市立印旛公民館利用サークル協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|---------------|-------|--------|-------------|-----|
| 1 | 和太鼓クラブ 鼓友会 | 和太鼓 | 毎週木曜 | 19:00~21:00 | 13 |
| 2 | いには野卓球クラブ | 卓球 | 毎週火曜 | 9:00~12:00 | 10 |
| 3 | 絵画サークル | 絵画 | 第2・4木曜 | 9:00~13:00 | 7 |
| 4 | 竹細工サークル（昼の部） | 竹細工製作 | 毎週木曜 | 13:00~17:00 | 7 |
| 5 | 竹細工サークル（夜の部） | 竹細工製作 | 毎週木曜 | 18:00~21:00 | 5 |
| 6 | ヘルスマイル卓球クラブ | 卓球 | 毎週土曜 | 13:00~16:00 | 10 |
| 7 | ステップ印旛 | 社交ダンス | 毎週金・土曜 | 9:00~12:00 | 7 |
| 8 | 陶芸サークル ねんどあそび | 陶芸 | 毎週木曜 | 19:00~21:00 | 9 |
| 9 | 自力整体印旛 | 自力整体 | 第1・3土曜 | 12:00~15:00 | 7 |
| 10 | 栖山流印旛吟道会 | 詩吟 | 第2・4日曜 | 13:00~15:00 | 5 |
| 11 | いんば押し花サークル | 押し花 | 第4土曜 | 13:00~17:00 | 6 |
| 12 | 桜歌の会 | カラオケ | 第2木曜 | 19:00~21:00 | 10 |
| 13 | 印旛囲碁サークル | 囲碁 | 第1・3日曜 | 13:00~16:00 | 13 |
| 14 | パンダクラブ | 囲碁 | 第1・3木曜 | 13:00~16:00 | 9 |
| 15 | 印旛コスモス会 | 日本舞踊 | 不定期 | 不定期 | 8 |

印西市立本埜公民館サークル連絡協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|----------------------|------------|------------------|---------------------------|-----|
| 1 | 竹和会 | 尺八 | 第2・4木曜 | 13:00~16:00 | 5 |
| 2 | どんぶりの会 | 陶芸 | 第1・3土曜 | 13:00~17:00 | 8 |
| 3 | 墨絵・水彩画サークル | 墨絵・水彩画 | 第2土曜 | 13:00~17:00 | 3 |
| 4 | エアロメグミ | エアロビクス | 第2・4水曜 | 10:00~12:00 | 5 |
| 5 | アンサンブルOHANA | 楽器演奏 | 第1・3日曜 | 9:00~13:00 | 11 |
| 6 | ワイズ | ヘルスパレー | 毎週水曜 | 10:00~13:00 | 16 |
| 7 | グリーンエンジェルス | バドミントン | 毎週火曜 | 18:00~21:00 | 25 |
| 8 | ゆりの会 | 紙画 | 第1水曜 | 13:00~17:00 | 5 |
| 9 | 北総太極拳サークル | 太極拳 | 毎週火曜 | 9:00~12:00 | 14 |
| 10 | コスモス新体操クラブ | 新体操 | 毎週木曜 毎週日曜 | 17:00~21:00 9:00~17:00 | 30 |
| 11 | 合唱サークル ♪poco a poco♪ | 合唱 | 第2・4火曜 | 10:00~12:00 | 27 |
| 12 | エンジェル・キッズ | お母さんと幼児の交流 | 毎週木曜 | 10:00~12:00 | 7 |
| 13 | アンサンブル チャム | 楽器演奏 | 第3土曜 | 13:00~16:00 | 6 |
| 14 | 印旛ヴィクトリー | バレーボール | 第1土・日曜 | 9:00~17:00 | 49 |
| 15 | 自力整体 | 自力整体 | 第1・3土曜 第2・4火曜 | 9:00~13:00 | 14 |
| 16 | ボクシングサークル NEXT-BEST | ボクシング | 第1~3日曜 | 12:00~14:00 | 14 |
| 17 | 白鳥の会 | ちょきん運動 | 毎週木曜 | 10:00~12:00 | 18 |

(3) 利用集計

公民館別利用者集計表

令和5年4月1日～令和6年3月31日

[内容別利用者数]

| 分類 | 館名 | 参加・利用延べ人数(人) | | | | | | | | | | | | 合計 | |
|-------|-----------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 利用者総数 | 中央 | 1,736 | 1,481 | 2,861 | 1,132 | 766 | 2,001 | 1,924 | 1,795 | 1,852 | 1,802 | 1,747 | 2,209 | 21,306 | |
| | 小林 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,618 | 2,333 | 1,521 | 1,516 | 1,653 | 1,582 | 10,223 | |
| | そうふけ | 2,232 | 2,378 | 3,059 | 3,433 | 2,978 | 2,860 | 3,595 | 3,875 | 3,648 | 3,819 | 3,574 | 3,447 | 38,898 | |
| | 印旛 | 422 | 394 | 912 | 609 | 866 | 909 | 1,475 | 1,141 | 1,853 | 647 | 559 | 1,112 | 10,899 | |
| | 本埜 | 1,541 | 1,097 | 1,055 | 1,393 | 1,290 | 922 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,298 | |
| | 合計 | 5,931 | 5,350 | 7,887 | 6,567 | 5,900 | 6,692 | 8,612 | 9,144 | 8,874 | 7,784 | 7,533 | 8,350 | 88,624 | |
| 利用者内訳 | 主催事業 | 中央 | 0 | 37 | 13 | 77 | 10 | 24 | 18 | 32 | 78 | 43 | 34 | 0 | 366 |
| | | 小林 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 | 39 | 62 | 68 | 47 | 252 |
| | | そうふけ | 0 | 0 | 0 | 34 | 108 | 16 | 16 | 27 | 43 | 35 | 12 | 60 | 351 |
| | | 印旛 | 0 | 8 | 16 | 50 | 38 | 40 | 64 | 21 | 52 | 9 | 8 | 0 | 306 |
| | | 本埜 | 0 | 0 | 20 | 65 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 96 |
| | | 合計 | 0 | 45 | 49 | 226 | 167 | 80 | 98 | 116 | 212 | 149 | 122 | 107 | 1,371 |
| | 学習室 | 中央 | 24 | 4 | 1 | 14 | 10 | 9 | 35 | 41 | 48 | 38 | 38 | 23 | 285 |
| | | 小林 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 | 37 | 36 | 39 | 33 | 19 | 219 |
| | | そうふけ | 88 | 103 | 169 | 326 | 378 | 179 | 235 | 140 | 238 | 173 | 149 | 145 | 2,323 |
| | | 印旛 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 15 | 27 |
| | | 本埜 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | | 合計 | 113 | 114 | 170 | 340 | 390 | 190 | 325 | 218 | 323 | 252 | 221 | 202 | 2,858 |
| | まつり | 中央 | 0 | 0 | 1,156 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,156 |
| | | 小林 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 255 | 0 | 0 | 255 |
| | | そうふけ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,216 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,216 |
| | | 印旛 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 224 | 0 | 0 | 0 | 0 | 224 |
| | | 本埜 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 合計 | 0 | 0 | 1,156 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,440 | 0 | 255 | 0 | 0 | 2,851 |
| | その他・サークル等 | 中央 | 1,712 | 1,440 | 1,691 | 1,041 | 746 | 1,968 | 1,871 | 1,722 | 1,726 | 1,721 | 1,675 | 2,186 | 19,499 |
| | | 小林 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,563 | 2,260 | 1,446 | 1,160 | 1,552 | 1,516 | 9,497 |
| | | そうふけ | 2,224 | 2,275 | 2,890 | 3,073 | 2,492 | 2,665 | 3,344 | 2,492 | 3,569 | 3,611 | 3,413 | 3,242 | 35,290 |
| | | 印旛 | 421 | 379 | 896 | 559 | 828 | 869 | 1,411 | 896 | 1,810 | 636 | 550 | 1,097 | 10,352 |
| | | 本埜 | 1,541 | 1,097 | 1,035 | 1,328 | 1,277 | 920 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,198 |
| | | 合計 | 5,898 | 5,191 | 6,512 | 6,001 | 5,343 | 6,422 | 8,189 | 7,370 | 8,551 | 7,128 | 7,190 | 8,041 | 81,836 |

[開館日数]

| 公民館名 | 開館日数(日) | 備考 |
|------|---------|---------------------------------------|
| 中央 | 292 | |
| 小林 | 143 | R5.4.1～R5.9.30 小林コミュニティプラザ保全改修工事に伴う休館 |
| そうふけ | 289 | |
| 印旛 | 292 | |
| 本埜 | 149 | R5.10.1～R7.3.31 本埜公民館保全改修工事に伴う休館 |

(4) 条例・規則

印西市立公民館の設置及び管理に関する条例

昭和54年1月31日条例第2号

改正

昭和59年3月19日条例第13号
昭和60年3月25日条例第8号
昭和62年3月13日条例第7号
平成2年3月13日条例第12号
平成2年9月17日条例第19号
平成3年9月17日条例第20号
平成7年3月30日条例第14号
平成8年3月26日条例第63号
平成9年3月12日条例第12号
平成10年9月29日条例第27号
平成11年3月19日条例第10号
平成12年3月15日条例第9号
平成14年3月6日条例第8号
平成16年3月26日条例第9号
平成22年3月17日条例第92号
平成23年12月26日条例第28号
平成24年3月28日条例第10号
平成25年12月19日条例第54号
平成31年3月22日条例第22号
令和5年6月27日条例第20号

印西市立公民館の設置及び管理に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第24条、第29条第1項及び第30条第2項の規定に基づき、公民館の設置及び管理並びに印西市公民館運営審議会に関し、必要な事項を定めるものとする。

(公民館の設置)

第2条 本市に公民館を設置する。

(名称及び位置)

第3条 公民館の名称及び位置は、次のとおりとする。

| 名称 | 位置 |
|-------------|---------------|
| 印西市立中央公民館 | 印西市大森3934番地1 |
| 印西市立小林公民館 | 印西市小林北五丁目1番地6 |
| 印西市立そうふけ公民館 | 印西市原三丁目4番地 |
| 印西市立印旛公民館 | 印西市瀬戸1518番地 |
| 印西市立本埜公民館 | 印西市中根1375番地 |

2 公民館の対象区域は、別に印西市教育委員会規則（以下「教育委員会規則」という。）で定める。

（使用の許可）

第4条 公民館を使用しようとする者は、印西市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の許可を受けなければならない。

2 公民館を使用しようとする者は、公民館の対象区域内の住民とする。ただし、教育委員会が必要と認めた場合は、この限りでない。

3 教育委員会は、前2項の使用の許可に条件を付することができる。

（使用の制限）

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、公民館の使用を許可しない。

（1）法第23条の規定に該当する行為の使用と認めたとき。

（2）施設又は設備を破損するおそれがあると認めたとき。

（3）公の秩序を害し、善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。

（4）その他公民館の管理運営上支障があると認めたとき。

（使用許可の取消し等）

第6条 使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の許可を取り消し、又は使用を停止させることができる。

（1）法令又はこの条例その他これに基づく規則等に違反したとき。

（2）使用許可条件に違反したとき。

（3）使用に関し、館長の指示に違反し、又は使用上遵守する事項に違反したとき。

2 教育委員会は、公民館の管理運営上やむを得ない事情が生じた場合は、許可の変更又は取消しをすることができる。

3 使用許可の取消し等により使用者が損害を生じててもその賠償の責を負わない。

（使用権の譲渡等の禁止）

第7条 使用者は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（使用料）

第8条 使用者は、次により算出された額の使用料を使用の許可を受けた際に納入しなければならない。

（1）公民館の施設 別表第1に掲げる額

（2）公民館の備品 別表第2に掲げる額

（使用料の減免）

第9条 市長が次に該当すると認める場合は、その使用料を減免することができる。

（1）市がその事務事業を行う場合

（2）国又は公共団体が市の施策に関連する事業を行う場合

（3）市内に所在地を有する公共的団体がその目的を達成するための事業を行う場合

（4）教育委員会が認めた社会教育関係団体が社会教育に関する事業を行う

場合

(5) 市内に所在地を有する福祉団体がその目的を達成するための事業を行う場合

(6) その他特に市長が必要と認めた場合
(使用料の不還付)

第10条 既納の使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第11条 公民館に館長のほか主事その他必要な職員を置く。ただし、館長は、非常勤の職員をもって充てることができるものとし、その任期は、2年とする。

(公民館運営審議会の設置)

第12条 法第29条第1項の規定に基づき、印西市公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

2 審議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

3 委員の定数は、20人以内とし、その任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第13条 この条例に定めるもののほか、公民館の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和54年2月1日から施行する。

(印西町公民館条例等の廃止)

2 次に掲げる条例は、廃止する。

(1) 印西町公民館条例（昭和29年条例第31号）

(2) 印西町公民館使用条例（昭和29年条例第32号）

(印旛村及び本埜村の編入に伴う経過措置)

3 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）の前日までに、印旛村公民館設置条例（昭和51年印旛村条例第8号）又は本埜村公民館の設置及び管理に関する条例（平成15年本埜村条例第14号）（以下これらを「編入前の条例」という。）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

4 編入日の前日までに、編入前の条例の規定により課した、又は課すべきであった使用料については、編入前の条例の規定の例による。

附 則（昭和59年3月19日条例第13号）

この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和60年 3 月 25 日 条例第 8 号）

この条例は、昭和60年 4 月 1 日から施行する。

附 則（昭和62年 3 月 13 日 条例第 7 号）

この条例は、昭和62年 4 月 13 日から施行する。

附 則（平成 2 年 3 月 13 日 条例第 12 号）

この条例は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 2 年 9 月 17 日 条例第 19 号）

この条例は、平成 2 年 10 月 15 日から施行する。

附 則（平成 3 年 9 月 17 日 条例第 20 号）

この条例は、平成 4 年 1 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年 3 月 30 日 条例第 14 号）

この条例は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 3 月 26 日 条例第 63 号）

この条例は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 9 年 3 月 12 日 条例第 12 号）

この条例は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 10 年 9 月 29 日 条例第 27 号）

この条例は、平成 10 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 11 年 3 月 19 日 条例第 10 号）

この条例は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条の改正規定及び別表の改正規定中印西市立永治公民館に係る部分は、同年 4 月 26 日から施行する。

附 則（平成 12 年 3 月 15 日 条例第 9 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 14 年 3 月 6 日 条例第 8 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 16 年 3 月 26 日 条例第 9 号）

この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 3 月 17 日 条例第 92 号）

この条例は、平成 22 年 3 月 23 日から施行する。

附 則（平成 23 年 12 月 26 日 条例第 28 号）

（施行期日）

1 この条例中第 1 条の規定は公布の日から、第 2 条の規定は平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 第 1 条の規定の施行日の前日までに、同条の規定による改正前の印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の規定により課した、又は課すべきであった印西市立印旛公民館体育館及び印西市立中央公民館宗像分館の使用に係る使用料については、同条例の規定の例による。

3 第2条の規定の施行日の前日までの公民館の使用に係る使用料については、同条の規定による改正前の印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の規定の例による。

(準備行為)

4 第2条の規定による改正後の印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の規定による使用料の納入手続その他同条を施行するために必要な準備行為は、同条の施行前においても行うことができる。

附 則 (平成24年3月28日条例第10号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に印西市公民館運営審議会の委員(以下「委員」という。)である者は、引き続き改正後の印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の規定に基づき委嘱された委員とみなす。

附 則 (平成25年12月19日条例第54号)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の別表第1及び別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に納入する使用料について適用し、同日前に納入する使用料については、なお従前の例による。

附 則 (平成31年3月22日条例第22号)

(施行期日)

1 この条例は平成31年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の印西市立公民館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に納入する使用料について適用し、同日前に納入する使用料については、なお従前の例による。

附 則 (令和5年6月27日条例第20号)

この条例は、令和5年10月1日から施行する。

別表第1 (第8条)

1 印西市立中央公民館

(1時間につき)

| 室名 | 使用料 |
|-------|------|
| 第1会議室 | 160円 |
| 第2会議室 | 160円 |
| 第3会議室 | 320円 |
| 学級講座室 | 320円 |
| 和室 | 320円 |

| | |
|-------|--------|
| 研修室 | 320円 |
| 調理実習室 | 430円 |
| 視聴覚室 | 650円 |
| 幼児室 | 160円 |
| 講堂 | 1,780円 |

2 印西市立小林公民館

(1時間につき)

| 室名 | 使用料 |
|-------|------|
| 集会室1 | 360円 |
| 集会室2 | 180円 |
| 集会室3 | 180円 |
| 和室1 | 230円 |
| 和室2 | 230円 |
| 工芸室 | 310円 |
| 調理実習室 | 470円 |
| 視聴覚室 | 590円 |
| 遊戯室 | 260円 |
| ホール | 950円 |

3 印西市立そうふけ公民館

(1時間につき)

| 室名 | 使用料 |
|-------|--------|
| 会議室 | 310円 |
| 研修室1 | 320円 |
| 研修室2 | 320円 |
| 和室 | 370円 |
| 創作活動室 | 370円 |
| 調理室 | 470円 |
| 視聴覚室 | 700円 |
| 多目的室 | 1,330円 |

4 印西市立印旛公民館

(1時間につき)

| 室名 | 使用料 |
|-------|------|
| 第1研修室 | 240円 |
| 第2研修室 | 190円 |
| 第3研修室 | 260円 |
| 第4研修室 | 190円 |
| 和室 | 470円 |
| 工芸室 | 150円 |

| | |
|-------|--------|
| 調理実習室 | 510円 |
| 視聴覚室 | 490円 |
| 大会議室 | 1,420円 |

5 印西市立本埜公民館

(1時間につき)

| 室名 | 使用料 |
|---------|-------------|
| 団体研修室 1 | 360円 |
| 団体研修室 2 | 360円 |
| 団体研修室 3 | 360円 |
| 団体研修室 4 | 360円 |
| 文化教養室 | 300円 |
| 情報学習室 | 250円 |
| 美術工芸室 | 300円 |
| 調理実習室 1 | 320円 |
| 調理実習室 2 | 430円 |
| 視聴覚室 | 800円 |
| 音楽室 | 600円 |
| 多目的ホール | 2,170円 (半面) |

別表第2 (第8条)

| 品目 | 回数 | 使用料 |
|-----|----|--------|
| 陶芸窯 | 1回 | 2,200円 |

印西市立公民館の管理及び運営に関する規則

昭和54年2月1日教育委員会規則第1号

改正

昭和54年7月5日教委規則第3号
昭和58年3月29日教委規則第1号
昭和59年3月12日教委規則第11号
昭和62年3月13日教委規則第1号
昭和63年11月7日教委規則第4号
平成元年3月20日教委規則第2号
平成2年4月16日教委規則第6号
平成2年9月12日教委規則第9号
平成3年3月22日教委規則第2号
平成4年3月25日教委規則第4号
平成6年2月7日教委規則第2号
平成6年4月1日教委規則第9号
平成8年3月1日教委規則第13号
平成10年9月29日教委規則第8号
平成11年3月19日教委規則第3号
平成13年2月22日教委規則第1号
平成13年3月29日教委規則第6号
平成15年3月26日教委規則第3号
平成17年11月10日教委規則第8号
平成18年2月13日教委規則第1号
平成22年3月17日教委規則第7号
平成23年12月26日教委規則第5号
平成24年1月20日教委規則第2号
平成27年3月23日教委規則第8号
平成29年3月21日教委規則第7号
平成30年3月26日教委規則第7号
平成31年2月15日教委規則第1号
令和3年3月26日教委規則第2号
令和3年8月17日教委規則第6号
令和3年11月19日教委規則第10号
令和5年3月28日教委規則第7号
令和5年9月20日教委規則第9号

印西市立公民館の管理及び運営に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、印西市立公民館の設置及び管理に関する条例（昭和54年条例第2号。以下「条例」という。）第13条の規定に基づき、公民館の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(対象区域)

第2条 条例第3条第2項に規定する公民館の対象区域は、別表のとおりとする。

(連絡調整)

第3条 印西市立中央公民館（以下「中央公民館」という。）は、通常の公民館業務のほか他の公民館の連絡調整に関することを行う。

(使用許可申請)

第4条 条例第4条の許可を受けようとする者は、印西市公共施設予約システムの利用等に関する規則（平成17年規則第68号。以下「予約規則」という。）に規定する使用許可申請書（第6号様式。以下「申請書」という。）を印西市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に提出しなければならない。ただし、予約規則第12条第4項の規定による場合は、申請書の提出があったものとみなす。

- 2 前項本文の規定による公民館の使用の許可の申請は、当該公民館を使用しようとする日（以下「使用日」という。）の属する月の2月前の月の9日から使用日の3日前までの間にしなければならない。ただし、教育委員会が特に理由があると認めたときは、当該期間外においても当該申請をすることができる。

(使用時間数)

第4条の2 公民館を使用することができる1月当たりの時間数は16時間以内とする。

- 2 使用日の属する月の2月前の月の16日以降の申請による公民館の使用は、前項の時間数を超えることができる。

(利用者登録による予約)

第4条の3 公民館を使用しようとする者は、予約規則に基づき、あらかじめ住所、氏名その他公民館の使用に関する事項について登録（以下「利用者登録」という。）をすることができる。

- 2 利用者登録をした者は、使用日の属する月の2月前の月の初日から7日までの間に、予約規則に基づき、使用の許可の申請の予約（以下「予約」という。）をすることができる。なお、予約は、利用者登録した公民館に限るものとし、1月16時間以内とする。
- 3 教育委員会は、前項の規定により予約をした者の数が使用に供すべき公民館の施設の数を超えるときは、抽選により使用の許可の予定者（以下「使用予定者」という。）を決定する。
- 4 教育委員会は、第2項の規定により予約をした者の数が使用に供すべき公民館の施設の数を超えないときは、当該予約をした者を使用予定者として決定する。
- 5 利用者登録をした者は、使用日の属する月の2月前の月の9日から使用日の3日前までの間に予約規則に基づき、随時予約をすることができる。この場合において、教育委員会は、当該予約をした者を使用予定者として決定す

る。なお、随時予約は、第2項に規定する予約時間も含め1月16時間以内とする。

6 使用予定者は、次の各号の区分に応じ、当該各号に定める期間内に第4条第1項に規定する申請書により、申請をしなければならない。

(1) 第3項及び第4項の規定により使用予定者として決定された者 使用日の属する月の2月前の月の9日から15日（その日が第6条に規定する休館日であるときは、教育委員会が別に定める日）まで

(2) 前項の規定により使用予定者として決定された者 使用予定者として決定された日から使用日の3日前（その日が第6条に規定する休館日であるときは、教育委員会が別に定める日）まで

7 教育委員会は、前項各号に掲げる者が、当該各号に定める期間内に申請をしないときは、使用予定者としての決定を取り消すものとする。

(使用の許可)

第4条の4 教育委員会は、第4条の規定による申請が適当であると認めるときは、予約規則に規定する使用許可書（第7号様式。以下「許可書」という。）を申請者に交付するものとする。ただし、予約規則第13条第2項の規定による場合は、許可書の交付をしたものとみなす。

(開館時間)

第5条 公民館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、午後9時まで開館することができる。

(休館日)

第6条 公民館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(1) 定期休館日 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定する日に当たるときは、その翌日とする。）

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(3) 年始休館日 1月2日、3日及び4日

(4) 年末休館日 12月28日、29日、30日及び31日

(5) 臨時休館日 特別の事情により、教育委員会が休館を必要と認めた日

(使用料減免団体)

第6条の2 条例第9条第3号に定める公共的団体とは、町内会、自治会等の住民自治組織団体をいう。

(損害賠償)

第7条 公民館の利用者が、公民館の施設、設備及び備品を破損し、汚損し、又は滅失した場合は、その損害を賠償しなければならない。

(館長の職務)

第8条 館長は、上司の命を受け、公民館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 館長は、公民館の施設及び設備の管理及び保全に努めなければならない。

3 館長は、担当の業務の円滑な運営を図るため、必要に応じ、班の責任者（以

下「主任」という。)を指定する。

(職員の職及び職務)

第9条 条例第11条において公民館に置くことができる職員(館長を除く。)の職及び職務は、次のとおりとする。

| 職 | 職務 |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 副館長 | 館長を補佐し、館長に事故あるときは、その職務を代理する。 |
| 副参事 主幹 副主幹 主査 主査補 | 上司の命を受け、所掌事務を掌理する。 |
| 社会教育主事 | 上司の命を受け、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える。 |
| 主任主事 主事 | 上司の命を受け、事務をつかさどる。 |

2 前項に掲げるもののほか、印西市職員の定年等に関する条例(昭和58年条例第14号)、印西市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例(令和4年条例第22号)及び一般職の任期付職員の採用に関する条例(平成19年条例第24号)に規定する職員を置くことができるものとする。

(主任の職務)

第10条 主任は、上司の命を受け、担当する班の事務を管理する。

(事務分掌)

第11条 公民館に置く班及びその事務分掌は、次のとおりとする。

指導班

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 文書の收受及び発送に関すること。
- (3) 文書、帳簿の整理及び保存に関すること。
- (4) 庶務及び会計に関すること。
- (5) 資料、統計、調査及び広報に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持及び管理に関すること。
- (7) 公民館事業の実施に関すること。
- (8) 関係機関及び各種団体との連絡に関すること。
- (9) サークル活動、グループ活動等の育成及び指導に関すること。
- (10) 各種展示資料及び学習資料の収集及び利用に関すること。
- (11) 有料公園施設、文化ホール、中央駅前地域交流館、地域福祉センター及び老人福祉センターの使用手続に関すること。
- (12) その他社会教育活動に関すること。

(臨時又は非常勤の職員)

第12条 公民館には、第9条に定めるもののほか、必要に応じ、臨時又は非常

勤の職員を置くことができる。

(事業計画及び事業報告)

第13条 館長は、年2回、事業計画及びその実施状況を教育委員会及び印西市公民館運営審議会(以下「審議会」という。)に報告しなければならない。

(公民館運営審議会)

第14条 審議会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。

3 委員長は、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(審議会の会議)

第15条 審議会は、定例会及び臨時会とし、委員長がこれを招集し、主宰する。

2 定例会は、年2回招集とし、臨時会は、必要の都度招集する。

3 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

4 審議会の議事は、出席委員の過半数で決定し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(審議会の庶務)

第16条 審議会の庶務は、中央公民館において処理する。

(事務処理)

第17条 公民館における事務処理については、印西市教育委員会事務局の取扱いの例による。

2 館長の専決事項は、次のとおりとする。

(1) 開館及び閉館時刻の変更に関する事項

(2) 使用許可に関する事項

(3) 使用者の申請に基づく使用の取消し及び変更の承認に関する事項

(補則)

第18条 この規則に定めるもののほか、公民館の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、昭和54年2月1日から施行する。

附 則 (昭和54年7月5日教委規則第3号)

この規則は、公布の日から施行し、改正後の印西町立公民館の管理及び運営に関する規則の規定は、昭和54年7月1日から適用する。

附 則 (昭和58年3月29日教委規則第1号)

この規則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則 (昭和59年3月12日教委規則第11号)

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則 (昭和62年3月13日教委規則第1号)

この規則は、昭和62年4月13日から施行する。

附 則 (昭和63年11月7日教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成元年 3 月 20 日教委規則第 2 号）

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 2 年 4 月 16 日教委規則第 6 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 2 年 9 月 12 日教委規則第 9 号）

この規則は、平成 2 年 10 月 15 日から施行する。

附 則（平成 3 年 3 月 22 日教委規則第 2 号）

この規則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 4 年 3 月 25 日教委規則第 4 号）

この規則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 6 年 2 月 7 日教委規則第 2 号）

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 6 年 4 月 1 日教委規則第 9 号）

この規則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 8 年 3 月 1 日教委規則第 13 号）

この規則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 10 年 9 月 29 日教委規則第 8 号）

この規則は、平成 10 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 11 年 3 月 19 日教委規則第 3 号）

この規則は、平成 11 年 4 月 26 日から施行する。

附 則（平成 13 年 2 月 22 日教委規則第 1 号）

この規則は、平成 13 年 7 月 1 日から施行する。

附 則（平成 13 年 3 月 29 日教委規則第 6 号）

この規則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 15 年 3 月 26 日教委規則第 3 号）

この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 11 月 10 日教委規則第 8 号）

この規則は、平成 17 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 2 月 13 日教委規則第 1 号）

（施行期日）

- 1 この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、この規則による改正後の第 4 条の 2 第 1 項に規定する利用者登録は、この規則の施行前に予約規則の規定により行うことができる。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の印西市立公民館の管理及び運営に関する規則の規定によりなされた申請及び許可は、この規則による改正後の印西市立公民館の管理及び運営に関する規則の規定によりなされた申請及び許可とみなす。

附 則（平成 22 年 3 月 17 日教委規則第 7 号）

この規則は、平成22年3月23日から施行する。

附 則（平成23年12月26日教委規則第5号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年1月20日教委規則第2号）

（施行期日）

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

（準備行為）

2 前項の規定にかかわらず、中央駅前地域交流館の使用に関し必要な手続は、この規則の施行前においても行うことができる。

附 則（平成27年3月23日教委規則第8号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月21日教委規則第7号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月26日教委規則第7号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月15日教委規則第1号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月26日教委規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和3年8月17日教委規則第6号）

この規則は、令和3年9月1日から施行する。

附 則（令和3年11月19日教委規則第10号）

（施行期日）

1 この規則は、令和4年3月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際、現にある改正前の印西市立公民館の管理及び運営に関する規則、印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則、印西市立図書館設置条例施行規則、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例施行規則、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則、印西市立木下交流の杜歴史資料センターの設置及び管理に関する条例施行規則及び印西市文化財保護条例施行規則の様式による用紙については、当分の間、所要の調整を行って使用することができる。

附 則（令和5年3月28日教委規則第7号）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和5年9月20日教委規則第9号）

この規則は、令和5年10月1日から施行する。

別表（第2条）

| 名称 | 対象区域 |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 印西市立中央公民館 | 木下小学校区 大森小学校区 |
| 印西市立小林公民館 | 小林小学校区 小林北小学校区 |
| 印西市立そうふけ公民館 | 高花小学校区 西の原小学校区 原小学校区 船穂小学校区 木刈小学校区 内野小学校区 原山小学校区 小倉台小学校区 牧の原小学校区 |
| 印西市立印旛公民館 | 六合小学校区 平賀小学校区 いには野小学校区 |
| 印西市立本埜公民館 | 本埜小学校区 滝野小学校区 |

3 地域交流館

(1) 事業報告

中央駅前地域交流館

(2) 利用団体一覧

中央駅前地域交流館利用団体懇話会

(3) 利用者集計

中央駅前地域交流館利用者集計表

(4) 条例・規則

印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例

印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則

(1) 事業報告

中央駅前地域交流館



(1号館)



(2号館)

【運営方針】

中央駅前地域交流館は、市民の交流機会の創出、自発的な学習活動を促進し健全で生き生きとした市民生活の形成に寄与することを目的とした施設である。

市民の相互交流の機会の提供、学習活動の機会の提供、子育て支援、児童健全育成事業等を企画し、自ら学ぶ機会や活動を促進支援し、子どもから大人までの市民の様々な学習ニーズに応えられるよう、人と人を結ぶ身近な施設として様々な事業を展開している。

【施設概要】

名称：印西市立中央駅前地域交流館

所在地：印西市中央南1-2

開館：平成24年4月1日

敷地面積：8,504㎡

延床面積：1号館 2,499㎡

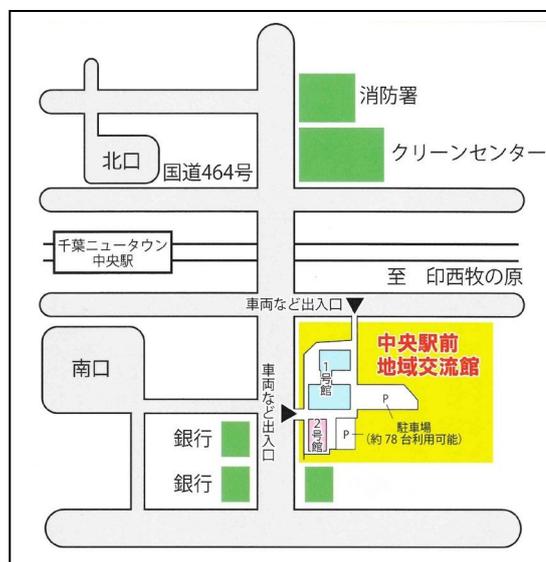
2号館 1,860㎡

構造：鉄筋コンクリート

1号館2階建て

2号館3階建て

駐車台数：令和5年8月より工事の為使用不可。
代替駐車場で運営中。



《令和5年度事業概要》

主催事業について、当初計画では「子ども対象事業」14事業、「大人対象事業」11事業、「共催事業」2事業を計画した。

なお、一部講師都合等により事業回数を変更した。

また、個人学習支援事業として学習室開放（定員8人）を行い、学習の場の提供を行った。続いて、毎年、中央駅前地域交流館利用団体懇話会が主体となって開催している「交流館まつり」は、コロナの影響、及び（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業に伴い駐車場が使用できない現状等から、令和5年度も中止となった。

なお、施設利用者の推移については、令和3年度 52,737人、令和4年度 72,833人、令和5年度 80,728人という状況である。

●わくわく探検隊

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------------------------|-------------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 学区・学年を超えて友情の輪を広げ、一緒に体験することにより、自立性・自主性・協調性を学び、考える心を育む。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 15人 | | | | |
| 受講率 | 75% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容等 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月10日（土） | オリエンテーション、規律訓練、護身術体験、世界のさようなら「イタリア語：チャオ」 | 職員 | 15人 |
| | 2 | 7月22日（土） | 畳作り 世界のさようなら「ドイツ語：ツウース」 | 米井畳店 | 13人 |
| | 3 | 8月24日（木） | 北総鉄道印旛車両基地見学 世界のさようなら「中国語：ツァイチェン」 | 北総鉄道職員 | 12人 |
| | 4 | 11月11日（土） | パークゴルフ体験 世界のさようなら「フランス語：サリュウ」 | 印西市パークゴルフ協会 | 14人 |
| | 5 | 12月10日（土） | 六軒・木下地区散策、朝市や煎餅店で買い物 世界のさようなら「スペイン語：アディオス」 | 職員 | 10人 |
| 参加者合計 | 64人 | | | | |
| 講座を終えて | 普段、家庭や学校で体験できないことを行うことで、思い出作りにもなっている。また、他学区、他学年の児童同士による活動で協調性を養うこともできている。館外学習では、北総鉄道の印旛車両基地において車両整備の様子等について説明を聞きながら見学し、身近な公共交通機関について理解を深める貴重な機会となった。 | | | | |

●科学あそび

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------|----------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象事業 | | | | |
| ねらい | 子どもたちに身近な科学の楽しさや関心を持ってもらうため、実験や工作を行う。また、夏休みの自由研究のヒントにもつなげられるようにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月4日（金） | 電気を知ろう！クリップモーター作製 | 関東電気保安協会 | 17人 |
| 参加者合計 | 17人 | | | | |
| 講座を終えて | 一般財団法人関東電気保安協会千葉事業本部を講師に迎え講座を行った。クリップモーター作製では、半数以上の参加者が、コイルを回転させることに成功していた。講師から「これほど成功した例は、稀である。」というおことばをいただいた。 | | | | |

●子育てルーム事業「おやこであそぼう」

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------|-----|--------|
| 事業区分 | 子ども対象（子育て支援）事業 | | | | |
| ねらい | 親子で遊べる場を提供し、子どもと親の健やかな育ちを支援していく。子育てに関する情報交換の場、親子共に友達づくりの場とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（乳幼児と保護者） | | | | |
| 定員 | 各時間枠15組 ①9：00～12：00 ②13：30～16：30 | | | | |
| 受講者数 | 7,463人 | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | | 通年 | 自由あそび、たけのこ測定（身体測定）、中庭開放、たけのこタイム（ふれあいあそび、読み聞かせ等） | 職員 | 7,463人 |
| 参加者合計 | 7,463人 | | | | |
| 講座を終えて | たけのこタイムは、月毎に内容を変えて歌や手遊びを行ったことで、これを楽しみに来館する親子もいて、喜んで参加してくれていた。 | | | | |

●季節のおもちゃ箱

| | | | | | |
|------|------------------------------------------------------|-----|-----|-----|---------|
| 事業区分 | 子ども対象（子育て支援）事業 | | | | |
| ねらい | 季節の行事や伝承行事をテーマに、制作あそびやダンス、おはなしなどを地域の親子と一緒に楽しみ季節を感じる。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（乳幼児と保護者） | | | | |
| 定員 | 各回13～15組（第7回は50組、第9回は40組） | | | | |
| 受講者数 | 第1回 | 12組 | 第2回 | 11組 | 第3回 13組 |

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------|-----------|------------|---------|-----|
| | 第4回 11組 | 第5回 13組 | 第6回 11組 | | |
| | 第7回 39組 | 第8回 8組 | 第9回 32組 | | |
| | 第10回 13組 | 第11回 5組 | 第12回 10組 | | |
| 受講率 | 第1回 92% | 第2回 85% | 第3回 87% | | |
| | 第4回 73% | 第5回 87% | 第6回 73% | | |
| | 第7回 78% | 第8回 53% | 第9回 80% | | |
| | 第10回 87% | 第11回 33% | 第12回 67% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 4月27日(木) | こいのぼり | 職員 | 26人 |
| | 2 | 5月24日(水) | あじさい | 職員 | 23人 |
| | 3 | 6月29日(木) | たなばた | 職員 | 27人 |
| | 4 | 7月26日(水) | 金魚すくい | 職員 | 27人 |
| | 5 | 8月30日(水) | 夏祭りごっこ | 職員 | 29人 |
| | 6 | 9月28日(木) | 楽器を作って遊ぼう | 職員 | 24人 |
| | 7 | 10月27日(金) | ハロウィン | 職員 | 90人 |
| | 8 | 11月30日(木) | みのむし見つけた! | 職員 | 19人 |
| | 9 | 12月22日(金) | クリスマスコンサート | カフカスタイル | 95人 |
| | 10 | 1月31日(水) | 鬼のでんでん太鼓 | 職員 | 27人 |
| | 11 | 2月28日(水) | ひなまつり | 職員 | 11人 |
| 12 | 3月14日(木) | 春が来たね | 職員 | 22人 | |
| 参加者合計 | 420人 | | | | |
| 講座を終えて | 人気の事業ですぐに定員に達してしまう状況であった。季節を感じられる内容のため、何度も参加する親子もいた。 | | | | |

●お誕生日集まれ!

| | | | | | |
|-------|--------------------------------------------------|----------|----------|-----|-----|
| 事業区分 | 子ども対象(子育て支援)事業 | | | | |
| ねらい | その月の誕生日児を祝い、アトラクションを見たり記念写真を撮ったりして過ごしながらか成を喜び合う。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(その月の誕生日児と保護者) | | | | |
| 定員 | 各回13~15組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 6組 | 第2回 7組 | 第3回 9組 | | |
| | 第4回 3組 | 第5回 3組 | 第6回 15組 | | |
| | 第7回 5組 | 第8回 6組 | 第9回 3組 | | |
| | 第10回 5組 | 第11回 5組 | 第12回 5組 | | |
| 受講率 | 第1回 46% | 第2回 54% | 第3回 60% | | |
| | 第4回 20% | 第5回 20% | 第6回 27% | | |
| | 第7回 33% | 第8回 40% | 第9回 33% | | |
| | 第10回 33% | 第11回 33% | 第12回 33% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |

| | | | | | |
|--------|-------------------------|-----------|---------------------|----|-----|
| | 1 | 4月19日(水) | 誕生児紹介、アトラクション、記念撮影等 | 職員 | 13人 |
| | 2 | 5月18日(木) | | | 14人 |
| | 3 | 6月21日(水) | | | 18人 |
| | 4 | 7月20日(木) | | | 7人 |
| | 5 | 8月24日(木) | | | 6人 |
| | 6 | 9月14日(木) | | | 16人 |
| | 7 | 10月18日(水) | | | 12人 |
| | 8 | 11月16日(木) | | | 12人 |
| | 9 | 12月14日(木) | | | 11人 |
| | 10 | 1月17日(水) | | | 10人 |
| | 11 | 2月15日(木) | | | 11人 |
| | 12 | 3月22日(金) | | | 10人 |
| 参加者合計 | 140人 | | | | |
| 講座を終えて | 子どもの成長を親子で喜び合うことができている。 | | | | |

●親子講座

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------|-----------|-----------|--------------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象(子育て支援)事業 | | | | |
| ねらい | 講師を招き親子で楽しめる講座を行い、親子で楽しさを共有することで子育ての楽しさを感じてもらえるようにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(乳幼児と保護者) | | | | |
| 定員 | 各回13~15組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 7組 | 第2回 10組 | 第3回 5組 | | |
| | 第4回 7組 | 第5回 13組 | | | |
| 受講率 | 第1回 54% | 第2回 67% | 第3回 33% | | |
| | 第4回 54% | 第5回 100% | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月16日(金) | いろいろリトミック | 戸田 千賀子 | 14人 |
| | 2 | 7月21日(金) | 親子ピクス | 佐々木 優子 | 24人 |
| | 3 | 10月24日(火) | 絵本講座 | 小倉台図書館 職員 | 11人 |
| | 4 | 11月22日(水) | 親子ピクス | 佐々木 優子 | 14人 |
| | 5 | 1月19日(金) | いろいろリトミック | 戸田 千賀子 | 31人 |
| 参加者合計 | 94人 | | | | |
| 講座を終えて | 親子で積極的に動き楽しむ姿が多く見られた。 | | | | |

●青空ルーム

| | |
|------|----------------|
| 事業区分 | 子ども対象(子育て支援)事業 |
|------|----------------|

| | | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|-----|-----|
| ねらい | 近隣の公園に出向くことで、子育てルームの存在を知ってもらい、遊びにくるきっかけづくりをする。また、親子や地域の友だちと一緒に楽しいひと時を過ごせる交流の場となるようにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（乳幼児と保護者） | | | | |
| 定員 | 自由参加 | | | | |
| 受講者数 | — | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 4月26日（水） | 雨天により中止 | 職員 | — |
| | 2 | 5月25日（木） | 公園であそぼう | | 22人 |
| | 3 | 6月15日（木） | 公園であそぼう | | 17人 |
| | 4 | 10月 4日（水） | 雨天により中止 | | — |
| | 5 | 11月 2日（木） | 公園であそぼう | | 30人 |
| 6 | 3月 6日（水） | 雨天により中止 | — | | |
| 参加者合計 | 69人 | | | | |
| 講座を終えて | 多くの参加があった（現地集合・解散の自由参加）。花の丘公園で親子ともに楽しむことができ、「青空ルーム」の存在や機能についても周知することができた。 | | | | |

●にこにこハッピー

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------|-----|-----|
| 事業区分 | 子ども対象（児童健全育成）事業 | | | | |
| ねらい | 親子で一緒に歌や手遊び、リズム遊び、簡単制作等を通して遊ぶことの楽しさを味わう。また、同学年の親子が関わり、友達を作ったり保護者同士の情報交換の場として活用してもらう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（1歳児と保護者） | | | | |
| 定員 | 各回10組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 8組 | 第2回 6組 | 第3回 7組 | | |
| | 第4回 5組 | 第5回 6組 | | | |
| 受講率 | 第1回 80% | 第2回 60% | 第3回 70% | | |
| | 第4回 50% | 第5回 60% | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月16日（火） | 出席ブック作り | 職員 | 17人 |
| | 2 | 7月14日（金） | リズムあそび | | 13人 |
| | 3 | 9月21日（木） | 運動あそび | | 15人 |
| | 4 | 12月22日（金） | クリスマスコンサート | | 14人 |
| 5 | 2月22日（木） | お買い物ごっこ | 14人 | | |
| 参加者合計 | 73人 | | | | |
| 講座を終えて | 親子で一緒にからだを楽しく動かす姿が見られた。同学年の親子が関わり参加者同士の交流をもつことができた。 | | | | |

●すこやかキッズ

| | |
|------|-----------------|
| 事業区分 | 子ども対象（児童健全育成）事業 |
|------|-----------------|

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------|-----|-----|
| ねらい | 親子で一緒に歌や手遊び、リズム遊び、簡単製作等を通して遊ぶことの楽しさを味わう。また、同年齢の親子が関わり、友達づくりや保護者同士の情報交換の場として活用してもらう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（2歳児と保護者） | | | | |
| 定員 | 各回10組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 8組 第4回 3組 | 第2回 7組 第5回 6組 | 第3回 7組 | | |
| 受講率 | 第1回 80% 第4回 30% | 第2回 70% 第5回 60% | 第3回 70% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月17日（水） | 出席ブック作り | 職員 | 17人 |
| | 2 | 7月13日（木） | シャボン玉 | | 14人 |
| | 3 | 9月20日（水） | 運動あそび | | 15人 |
| | 4 | 12月22日（金） | クリスマスコンサート | | 8人 |
| | 5 | 2月22日（木） | お買い物ごっこ | | 12人 |
| 参加者合計 | 66人 | | | | |
| 講座を終えて | 親子で一緒にからだを楽しく動かす姿が見られた。同学年の親子が関わり参加者同士の交流を持つことができた。 | | | | |

●ゆうぎ室であそぼう

| | | | | | |
|-----------|---------------------------------|----------|---------------------|---------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象（児童健全育成）事業 | | | | |
| ねらい | 体を動かして遊べるよう、親子でのびのびと過ごせる場を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（乳幼児と保護者） | | | | |
| 定員 | 各回10～14組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 7組 | 第2回 8組 | 第3回 6組 | | |
| | 第4回 5組 | 第5回 6組 | 第6回 12組 | | |
| | 第7回 7組 | 第8回 5組 | 第9回 14組 | | |
| | 第10回 14組 | 第11回 8組 | 第12回 7組 | | |
| | 第13回 10組 | 第14回 8組 | 第15回 6組 | | |
| | 第16回 8組 | 第17回 8組 | 第18回 2組 | | |
| | 第19回 9組 | 第20回 8組 | 第21回 6組 | | |
| | 受講率 | 第1回 70% | 第2回 80% | 第3回 60% | |
| 第4回 50% | | 第5回 46% | 第6回 92% | | |
| 第7回 54% | | 第8回 38% | 第9回 100% | | |
| 第10回 100% | | 第11回 62% | 第12回 54% | | |
| 第13回 77% | | 第14回 62% | 第15回 46% | | |
| 第16回 62% | | 第17回 62% | 第18回 15% | | |
| 第19回 69% | | 第20回 53% | 第21回 40% | | |
| プログラム | | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 |
| | 1 | 4月11日（火） | 乗用玩具、すべり台、トンネル、ボールな | 職員 | 16人 |

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------|-----------|----------------|--|-----|
| | 2 | 4月28日(金) | どを使い身体を動かして遊ぶ。 | | 18人 |
| | 3 | 5月12日(金) | | | 12人 |
| | 4 | 5月23日(火) | | | 12人 |
| | 5 | 6月13日(火) | | | 12人 |
| | 6 | 6月30日(金) | | | 29人 |
| | 7 | 7月 7日(金) | | | 16人 |
| | 8 | 9月 1日(金) | | | 11人 |
| | 9 | 9月26日(火) | | | 30人 |
| | 10 | 10月 6日(金) | | | 26人 |
| | 11 | 10月20日(金) | | | 18人 |
| | 12 | 11月10日(金) | | | 15人 |
| | 13 | 11月28日(火) | | | 21人 |
| | 14 | 12月 5日(火) | | | 16人 |
| | 15 | 12月21日(木) | | | 16人 |
| | 16 | 1月12日(金) | | | 17人 |
| | 17 | 1月26日(金) | | | 19人 |
| | 18 | 2月 2日(金) | | | 5人 |
| | 19 | 2月20日(火) | | | 19人 |
| | 20 | 3月 8日(金) | | | 19人 |
| | 21 | 3月19日(火) | | | 13人 |
| 参加者合計 | 360人 | | | | |
| 講座を終えて | 「子育てルーム」とは違った身体を動かした遊びができるため、人気のある事業となっている。 | | | | |

●児童ルームであそぼう

| | | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------------|-----|--------|
| 事業区分 | 子ども対象(児童健全育成)事業 | | | | |
| ねらい | 子どもが安心できる遊び場、学習の場を提供する。他学区・他学年の子ども同士が交流できる場を提供して、友達づくりのきっかけをつくる。様々な遊びに自発的に取り組めるよう支援する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小学生~18歳未満) | | | | |
| 定員 | 各時間枠40人 ①9:00~12:00 ②13:30~16:45 | | | | |
| 受講者数 | 3,256人 | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | | 通年 | 児童ルーム、学習コーナー、図書コーナーの開放 | 職員 | 3,256人 |
| 参加者合計 | 3,256人 | | | | |
| 講座を終えて | 一人でも楽しめるゲームや机上あそびを取り入れるなど、様々な遊びを提供していく中で、子どもたちは工夫して遊びを発展させ楽しんでいる。 | | | | |

●あそびのポケット&スペシャル

| | | | | | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------|----------|----------|---------|---------|---------|----------|
| 事業区分 | 子ども対象（児童健全育成）事業 | | | | | | | | |
| ねらい | 簡単な工作や手芸、実験遊びを行い、交流館を知るきっかけをつくる。簡単で身近な素材を使って、家庭ではあまり経験のできないことを体験しながら、他学区・他学年の子どもたちとの交流も楽しむ。 | | | | | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小・中学生） | | | | | | | | |
| 定員 | 各回10～50人（3月は自由参加） | | | | | | | | |
| 受講者数 | 第1回 2人 | 第2回 4人 | 第3回 16人 | 第4回 50人 | 第5回 20人 | 第6回 29人 | 第7回 7人 | 第8回 3人 | 第9回 36人 |
| 受講率 | 第1回 20% | 第2回 40% | 第3回 53% | 第4回 100% | 第5回 100% | 第6回 97% | 第7回 70% | 第8回 30% | 第9回 100% |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 | | | | |
| | 1 | 4月 9日（日） | エコバック作り | 職員 | 2人 | | | | |
| | 2 | 5月27日（土） | うちわ作り | 職員 | 4人 | | | | |
| | 3 | 6月17日（土） | 【スペシャル】ドラムサークル | 木村 崇史 | 16人 | | | | |
| | 4 | 7月29日（土） | 【スペシャル】イラストペン入れ講座 | 栗原 静香 | 50人 | | | | |
| | 5 | 8月 2日（水） | 【スペシャル】ハーバリウム作り | 小池 こず恵 | 20人 | | | | |
| | 6 | 8月23日（水） | 【スペシャル】竹中工務店技術研究所見学 | 竹中工務店 | 29人 | | | | |
| | 7 | 1月27日（土） | 【スペシャル】レゴシリアスプレイ | 榎本 美紅 | 7人 | | | | |
| | 8 | 2月 4日（日） | スライム作り | 職員 | 3人 | | | | |
| 9 | 3月23日（土） 3月24日（日） 3月30日（土） 3月31日（日） | プラバン作り | 職員 | 36人 | | | | | |
| 参加者合計 | 167人 | | | | | | | | |
| 講座を終えて | 身近な素材を使った工作や普段体験できないドラムサークル、漫画家指導の下でのイラストペン入れ等を行う中で、子どもたちの交流が図られた。 | | | | | | | | |

●レクホールであそぼう

| | | | | | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 事業区分 | 子ども対象（児童健全育成）事業 | | | | |
| ねらい | ①親子で思いきり体を動かして遊べる場を提供し、地域の親子の交流を楽しめるようにする。また、父親の育児参加の機会になるような遊びを用意する。 ②レクホールでバドミントン、ボールなどの遊具を提供し、思い切り体を動かせる場を提供する。あそびを通して、他学区、他学年の友達との交流を持つきっかけをつくる。 | | | | |
| 対象 | ①市内在住者（幼児と保護者） ②市内在住者（小・中学生） | | | | |
| 定員 | ①25組 13：15～14：15 ②25人 14：30～16：00 | | | | |

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-----|-----|
| 受講者数 | 第1回 ①0組 ②12人 第4回 ①1組 ②2人 第7回 ①0組 ②2人 第10回 ①0組 ②2人 | 第2回 ①0組 ②2人 第5回 ①3組 ②6人 第8回 ①なし ②24人 第11回 ①0組 ②11人 | 第3回 ①1組 ②3人 第6回 ①0組 ②11人 第9回 ①0組 ②3人 | | |
| 受講率 | 第1回 ①0% ②48% 第4回 ①4% ②8% 第7回 ①0% ②8% 第10回 ①0% ②8% | 第2回 ①0% ②8% 第5回 ①12% ②24% 第8回 ①なし ②80% 第11回 ①0% ②44% | 第3回 ①4% ②12% 第6回 ①0% ②44% 第9回 ①0% ②12% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 4月15日(土) | みんなで体を動かして楽しもう | 職員 | 12人 |
| | 2 | 5月20日(土) | | | 2人 |
| | 3 | 7月15日(土) | | | 5人 |
| | 4 | 8月19日(土) | | | 4人 |
| | 5 | 9月16日(土) | | | 13人 |
| | 6 | 10月21日(土) | | | 11人 |
| | 7 | 11月18日(土) | | | 2人 |
| | 8 | 12月16日(土) | | | 24人 |
| | 9 | 1月20日(土) | | | 3人 |
| | 10 | 2月17日(土) | | | 2人 |
| 11 | 3月16日(土) | 11人 | | | |
| 参加者合計 | 89人 | | | | |
| 講座を終えて | 月により参加人数にばらつきがでているので周知に努めより多くの方に参加してもらいレクホールの楽しさを味わっていただきたい。 | | | | |

●書き初め広場

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|-----------|------|-------|-----|
| 事業区分 | 子ども対象(児童健全育成)事業 | | | | |
| ねらい | 冬休みの課題である書初めを講師指導のもと書きあげる。書道に対する関心を深めるとともに、他学区・他学年の子と一緒に交流を深めていく場を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小・中学生) | | | | |
| 定員 | 12人 | | | | |
| 受講者数 | 12人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月26日(火) | 書き初め | 蟹江 晶子 | 12人 |
| 参加者合計 | 12人 | | | | |
| 講座を終えて | 全員が書き初めを書き上げることができた。書道に対する関心を深めるとともに、他学区・他学年の子と一緒に交流を深めていくことができた。 | | | | |

●はつらつクラブ

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------|----------|------------------------------------|------------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 運動、ものづくりなど様々な体験を通して、心と体で楽しくふれあい、生きがいつくり、仲間づくりのきっかけにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 22人 | | | | |
| 受講者数 | 22人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月7日（水） | オリエンテーション 講話「毎日の食事を見直そう 食べて元気に」 | 健康増進課 職員 | 19人 |
| | 2 | 8月24日（木） | 北総鉄道印旛車両基地見学 | 北総鉄道職員 | 9人 |
| | 3 | 10月5日（木） | 成田市公設地方卸売市場見学 | 成田市公設 地方卸売市場 管理係 | 17人 |
| | 4 | 11月1日（水） | ウォーキングとストレッチ | 健康増進課 職員 | 14人 |
| | 5 | 12月6日（水） | 正月飾りを作る | 平木 亜津子 | 15人 |
| 参加者合計 | 74人 | | | | |
| 講座を終えて | 普段の生活でなかなか体験できないことを行うことで、生きがいつくりにつながっている。 | | | | |

●印西新発見バスツアー

| | | | | | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 市内の旧跡や施設等を見学し、自分たちのまちで新たな発見や歴史を学び、ふるさと印西を見つめてもらう。印西の良さを新たに実感することを目的とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月7日（木） | 順天堂大学さくらキャンパス見学 健康に関する講話 | 見学： 順天堂大学 社会連携推進室 さくらキャンパス 分室 講話： 涌井 佐和子教授 | 19人 |
| 参加者合計 | 19人 | | | | |

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講座を終えて | なかなか見学することができない大学の内部を見ることができ、学食を実際に食べることもでき、参加者は喜んでいました。世界的な有名選手を輩出している大学だけに、歴史や施設整備の充実さを感じた。 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|

●体験講座「しめ縄づくり」

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------|-----------|--------|-----|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | わらにより正月飾りを作りながら、伝統的風習の意味や慣わしなどに触れる。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 15人 | | | | |
| 受講率 | 94% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月13日（水） | しめ縄づくり | 愛郷会 | 14人 |
| 参加者合計 | 14人 | | | | |
| 講座を終えて | わらにより正月飾りを作りながら、伝統的風習の意味や慣わしなどに触れることができた。おさんぽいんザイ君の取材対象となった。 | | | | |

●収納講座「お片付けのお話」

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------|------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 整理整頓・廃棄・収納や片付けのコツを学び、生活を豊かにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容等 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月30日（火） | 整理整頓・廃棄・収納や片付けのコツの講義とグループディスカッション | 長友 舞 | 18人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | 参加者の年代ごとにグルーピングを行い、講座後半ではグループディスカッションも行った。終始アットホームな雰囲気、参加者は全員楽しく受講できていた。 | | | | |

●資産運用講座「初めてのNISA講座」

| | | | | | |
|-------|-----------------------------------|----------|------------------|---------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 市民のライフプランの一助となるため、資産運用の基本等について学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 40人 | | | | |
| 受講者数 | 40人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容等 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月25日（日） | 投資の基本とNISAについて学ぶ | 日本証券業協会 | 38人 |

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参加者合計 | 38人 |
| 講座を終えて | 年代も投資経験もそれぞれ異なる受講者であったが、講義後の質疑応答も活発であった。56人もの応募があり、市民の投資への意識・関心の高さを感じた。また、来年からNISAの方法が変更となること、日曜日に開催したことで、多くの募集があったと思われる。 |

●ベビー講座「ベビーマッサージ」

| | | | | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象（子育て支援）事業 | | | | |
| ねらい | 低年齢向けに子育てルームの利用のきっかけとなるような事業を行う中で、親子でふれあいながら遊ぶことの楽しさを感じ、また、利用者同士が地域に友達を作る場とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（3か月～10か月の乳児と保護者） | | | | |
| 定員 | 各回10～13組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 10組 | 第2回 9組 | 第3回 9組 | | |
| | 第4回 4組 | 第5回 2組 | | | |
| 受講率 | 第1回 100% | 第2回 69% | 第3回 69% | | |
| | 第4回 31% | 第5回 15% | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 4月25日（火） | ベビーマッサージ | 安藤 敬子 | 20人 |
| | 2 | 6月27日（火） | ベビーマッサージ | | 18人 |
| | 3 | 9月 9日（土） | パパのベビーマッサージ | | 21人 |
| | 4 | 11月14日（火） | ベビーマッサージ | | 8人 |
| | 5 | 1月23日（火） | ベビーマッサージ | | 4人 |
| 参加者合計 | 71人 | | | | |
| 講座を終えて | マッサージに反応し気持ち良さを感じて眠ってしまう子どもも多く、マッサージを行っている母親・父親も嬉しそうであった。子育て相談では、みんなで共感しあえるものも多く、有意義な内容となっている。 | | | | |

●ベビー講座「ベビードダンス」

| | | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|---------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象（子育て支援）事業 | | | | |
| ねらい | 低年齢向けに子育てルームの利用のきっかけとなるような事業を行う中で、親子でふれあいながら遊ぶことの楽しさを感じ、また、利用者同士が地域に友達を作る場とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（3か月～1歳の乳児と保護者） | | | | |
| 定員 | 各回10～13組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 8組 | 第2回 2組 | | | |
| 受講率 | 第1回 80% | 第2回 15% | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月19日（金） | ベビードダンス | 柳 由美子 | 16人 |
| | 2 | 10月13日（金） | ベビードダンス | | 4人 |
| 参加者合計 | 20人 | | | | |
| 講座を終えて | 子どもを抱いてスキンシップを図りながらリズムカルに踊ることにより、運動不足解消やリフレッシュすることができ、子どもも気持ち良さそうだった。腰の高い位置での抱っこの仕方を教えてもらい、参 | | | | |

| | |
|--|----------------------|
| | 加者からは「楽になった」と好評であった。 |
|--|----------------------|

●パパママ講座

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------------|-----------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象（子育て支援）事業 | | | | |
| ねらい | 趣味的な講座でリフレッシュしたり、子育ての知識を得たり、悩みを共有したりできる講座で、子育てを楽しめるようにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（子育て中の父親、母親） | | | | |
| 定員 | 各回10～20組 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 9組 第4回 7組 第7回 5組 第10回 5組 | 第2回 11組 第5回 15組 第8回 7組 第11回 5組 | 第3回 14組 第6回 3組 第9回 8組 | | |
| 受講率 | 第1回 75% 第4回 35% 第7回 25% 第10回 50% | 第2回 85% 第5回 100% 第8回 70% 第11回 50% | 第3回 93% 第6回 20% 第9回 62% | | |
| プログラム | 回 | 予定月 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月22日（木） | ロゼット作り | 佐藤 公子 | 19人 |
| | 2 | 7月 6日（木） | 産後ママのストレッチピラティス | 土井 さやか | 23人 |
| | 3 | 8月 4日（金） | 歯磨き講座 | 健康増進課 職員 | 28人 |
| | 4 | 9月10日（日） | 子育てセミナー「子どもの才能の伸ばし方 &子育てマナー講座」 | 子育て診断士 清水 信一 | 18人 |
| | 5 | 9月12日（火） | 離乳食講座 後期・完了期 | 保育課職員 | 20人 |
| | 6 | 10月 5日（木） | 離乳食講座 初期・中期 | 保育課職員 | 6人 |
| | 7 | 10月22日（日） | 子育てセミナー「子どものタイプ別子育て 法&マナー講座」 | 子育て診断士 清水 信一 | 11人 |
| | 8 | 12月 2日（土） | パパのコアトレーニング | 土井 さやか | 16人 |
| | 9 | 2月21日（水） | 産後ママのストレッチピラティス | 土井 さやか | 16人 |
| | 10 | 2月27日（火） | 親子で太極拳 | 山下 治彦 | 10人 |
| 11 | 2月29日（木） | 親子で太極拳 | 山下 治彦 | 10人 | |
| 参加者合計 | 177人 | | | | |
| 講座を終えて | 普段運動をする暇のない受講者にとってストレッチピラティスは体を動かす良い機会となった。 また、歯磨きや離乳食についてケアや実施方法等の詳しい説明と相談により知識を得ることができ、 保護者同士の情報交換の場にもなった。 | | | | |

●子育て相談

| | |
|------|------------------------------------------------|
| 事業区分 | 大人対象（子育て支援）事業 |
| ねらい | 子育ての悩みや育児について相談できるような体制を整える。家庭や母親の情緒面に支援が必要と判断 |

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------------------------|-----|------------------|----------------------------------|-----|
| | したときは、保健センター、児童家庭相談員、子ども発達センターなど各機関と連携、協力を図り支援していく。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（未就学児を持つ保護者） | | | | |
| 定員 | — | | | | |
| 受講者数 | 84人 | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 予定月 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | | 通年 | 子育ての悩みや育児についての相談 | 職員 子育てコンシェルジュ 健康増進課 保健師 | 84人 |
| 参加者合計 | 84人 | | | | |
| 講座を終えて | 子育ての悩みや育児について気軽に相談できる雰囲気作りと体制を整え、相談を受けている。 | | | | |

●子育てサークル育成・支援

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------------------------------|-----|--------------|-----|-----|
| 事業区分 | 大人対象（子育て支援）事業 | | | | |
| ねらい | 親にとって育児が楽しいと感じられるように母親同士でサークルを立ち上げ、計画を作成し、活動できるように助言や支援をしていく。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（未就学児を持つ保護者） | | | | |
| 定員 | — | | | | |
| 受講者数 | 0人 | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | | 通年 | 子育てサークル育成・支援 | 職員 | 0人 |
| 参加者合計 | 0人 | | | | |
| 講座を終えて | サークルの立ち上げや計画作成、活動の助言や支援をしていく相談体制を整えていく。 | | | | |

●憩いの家開放事業

| | | | | | |
|-------|----------------------------------------------------------------------|-----|----|-----|-----|
| 事業区分 | 大人対象（高齢者福祉）事業 | | | | |
| ねらい | カラオケや高齢者クラブの会合など高齢者の憩いの場やレクリエーションの場として提供することで、生きがいづくり、仲間づくりのきっかけにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（60歳以上） | | | | |
| 定員 | 同時に使用できるのは14人まで | | | | |
| 受講者数 | 1,940人 | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |

| | | | | |
|--------|---------------------------------------|---------|---|--------|
| | 通年 | 憩いの家の開放 | — | 1,940人 |
| 参加者合計 | 1,940人 | | | |
| 講座を終えて | 高齢者のレクリエーションの場として、憩いの家のカラオケ設備を開放している。 | | | |

●ものづくり講座初級コース（印西おもちゃの病院と共催）

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----------------------------------------------|---------------|-----|
| 事業区分 | 共催事業 | | | | |
| ねらい | 子どもたちのものづくり活動を通して、アイデアを具体化する技術能力や創造性を育む。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学5年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 12人 | | | | |
| 受講者数 | 11人 | | | | |
| 受講率 | 92% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月21日（日） | 開講式・各種工具の使い方・ かんたんな工作：紙コプター 上級コースと合同開催 | 印西おもちゃ の病院 | 10人 |
| | 2 | 6月4日（日） | 手づくりモーター | | 8人 |
| | 3 | 7月2日（日） | 発電の仕組：手まわし発電機 | | 11人 |
| | 4 | 8月20日（日） | モーターを使った工作：気まぐれアシカ | | 10人 |
| | 5 | 9月3日（日） | モーターを使った工作：風力車 | | 11人 |
| | 6 | 10月1日（日） | からくり工作：きょうりゅうのあかちゃん | | 10人 |
| | 7 | 11月5日（日） | 飛行機を作って飛ばそう | | 11人 |
| | 8 | 12月3日（日） | ゲルマニュームラジオ | | 9人 |
| | 9 | 1月7日（日） | 磁石でぐるぐる | | 8人 |
| 10 | 2月4日（日） | かんたんな工作・閉講式 上級コースと合同開催 | 8人 | | |
| 参加者合計 | 96人 | | | | |
| 講座を終えて | 子どもたちは熱心に取り組んでおり好評である。当日参加できなかった子どもについては、翌月に補講を行うことで、進捗状況に差が出ないように対応していただいている。年間を通して技術能力や創造性の向上が期待できる。 | | | | |

●ものづくり講座上級コース（印西おもちゃの病院と共催）

| | | | | |
|------|------------------------------------------|--|--|--|
| 事業区分 | 共催事業 | | | |
| ねらい | 子どもたちのものづくり活動を通して、アイデアを具体化する技術能力や創造性を育む。 | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学6年生、前年度本講座受講生） | | | |
| 定員 | 9人 | | | |

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----------------------------------------------|---------------|-----|
| 受講者数 | 3人 | | | | |
| 受講率 | 33% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月21日(日) | 開講式・各種工具の使い方・ かんたんな工作：紙コプター 初級コースと合同開催 | 印西おもちゃ の病院 | 3人 |
| | 2 | 6月 4日(日) | 工具の使い方(はんだごて・テスター等) | | 3人 |
| | 3 | 7月 2日(日) | ゴム鉄砲：5連発方法を考える | | 2人 |
| | 4 | 8月20日(日) | 模型飛行機：プロペラで模型飛行機を飛ばす | | 2人 |
| | 5 | 9月 3日(日) | ポンポン船 | | 3人 |
| | 6 | 10月 1日 (日) | 手づくりモーターの応用：風力車を動かす | | 2人 |
| | 7 | 11月 5日 (日) | リニアモーターカー：磁石を使って作製 | | 3人 |
| | 8 | 12月 3日 (日) | 2石ラジオ | | 3人 |
| | 9 | 1月 7日(日) | 紙コプターを高く飛ばす羽の工夫 | | 1人 |
| 10 | 2月 4日(日) | かんたんな工作・閉講式 初級コースと合同開催 | 3人 | | |
| 参加者合計 | 25人 | | | | |
| 講座を終えて | 子どもたちは熱心に取り組んでおり好評である。当日参加できなかった子どもについては、翌月に補講を行うことで、進捗状況に差が出ないように対応していただいている。年間を通して技術能力や創造性の向上が期待できる。 | | | | |

《講座の様子》



▲わくわく探検隊 畳をつくるぞ！



▲はつらつクラブ



▲資産運用講座「初めてのNISA講座」



▲収納講座



▲季節のおもちゃ箱「ハロウィン」



▲ものづくり講座初級コース

《団体育成事業》

利用サークル等が自主的かつ円滑に活動できるよう指導・援助を行った。
また、「中央駅前地域交流館利用団体懇話会」については、会の自主性を重んじながら円滑な運営ができるよう、指導・援助を行っているが、令和5年度は、2団体が脱退した（令和6年3月末現在33団体で構成）。会員の高齢化等により運営が難しくなっているサークルが見受けられるため、会員確保に向けた援助を行っていく。
交流館まつりについては、コロナ禍の状況や（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業に伴い駐車場が使用できない現状等から中止となった。

《個人学習支援事業》

講座室を個人学習室として開放し、学習の場を提供することで、交流館をより身近な施設として感じてもらえるようにする。また、学習機会の提供により、利用の少ない青年層の利用促進を図った。学習室の定員は、8名として学習の場の提供を行った。

《貸館事業》

市民が自発的に学習し、ふれあいの輪を広げ、その成果や効果を社会還元して地域醸成するための場として提供した。また、社会教育関係団体、自治会等の地域団体、福祉関係団体等に学習、会議及び交流の場を提供した。
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の終息に伴い、施設利用者数は増加傾向にあると考えられる。

(2) 利用団体一覧

中央駅前地域交流館利用団体懇話会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|----------------------|---------|-----------|-------------|-----|
| 1 | アネモネの会 | 絵画 | 第1～4火曜 | 9:00～13:00 | 8 |
| 2 | 創の会 | 絵画 | 第2～4木曜 | 9:00～13:00 | 7 |
| 3 | ひまわり書道会 | 書道 | 第1・3金曜 | 10:00～12:00 | 22 |
| 4 | 陶芸1班 | 陶芸 | 第1木曜、第3金曜 | 9:00～17:00 | 10 |
| 5 | 陶芸4班 | 陶芸 | 第2・4金曜 | 9:00～17:00 | 11 |
| 6 | 陶華 | 陶芸 | 毎週土曜又は日曜 | 9:00～17:00 | 14 |
| 7 | 中央こでまり会 | 茶道(裏) | 第1・3水曜 | 9:00～14:00 | 10 |
| 8 | 印謡会 | 謡曲 | 第1木曜、第3日曜 | 13:00～17:00 | 15 |
| 9 | 印西ゆめ太鼓 | 和太鼓 | 毎週日曜 | 9:00～13:00 | 24 |
| 10 | 詩吟藤乃会 | 詩吟 | 第1～4金曜 | 13:00～15:00 | 15 |
| 11 | 千葉ニュータウンフォークソングヴィレッジ | フォークソング | 第2・4土曜 | 13:00～17:00 | 26 |
| 12 | STUDIO INZAI | バンド | 月2回 | 13:00～17:00 | 14 |
| | | | 土曜・日曜 | 17:00～21:00 | |
| 13 | 千葉ニュータウン混声合唱団 | 合唱 | 毎週日曜 | 13:00～17:00 | 35 |
| 14 | 大正琴サークル菊琴の調べ | 大正琴 | 第2・4水曜 | 13:00～17:00 | 8 |
| 15 | 手つなぎの会 | 手話 | 第1～4火曜 | 10:00～12:00 | 40 |
| | | | 第2～4土曜 | 15:00～17:00 | |
| 16 | スポーツダンス中央 | ダンス | 第1～4日曜 | 13:00～17:00 | 12 |
| 17 | 千葉ニュータウンスクエアダンスサークル | ダンス | 第1～4土曜 | 13:00～17:00 | 37 |
| 18 | 輪舞曲(ロンド) | ダンス | 毎週日曜 | 11:00～13:00 | 17 |
| 19 | ヘルシー・コスモス・サークル(HCC) | エアロビクス | 第1～4金曜 | 9:00～11:00 | 11 |
| 20 | シルバーダックス | 卓球 | 毎週水曜・金曜 | 13:00～15:00 | 60 |
| 21 | スマッシュクラブ | 卓球 | 毎週火曜 | 9:00～11:00 | 36 |
| 22 | 卓水クラブ | 卓球 | 毎週水曜 | 18:00～21:00 | 50 |
| | | | 毎週土曜 | 17:00～21:00 | |
| 23 | フレッシュクラブ | インディアカ | 毎週火曜 | 14:00～17:00 | 11 |

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|-------------------|--------|--------|-------------|-----|
| 24 | ラケット | バドミントン | 毎週土曜 | 10:00~13:00 | 10 |
| 25 | CBC | バドミントン | 毎週金曜 | 15:00~17:00 | 16 |
| 26 | 気功サークル | 気功 | 第1~4水曜 | 11:00~13:00 | 13 |
| 27 | 千葉ニュータウン太極拳同好会 | 太極拳 | 毎週日曜 | 9:00~11:00 | 15 |
| 28 | 太極拳火曜会 | 太極拳 | 毎週火曜 | 11:00~13:00 | 31 |
| 29 | ストレッチフレッシュ | 健康体操 | 第1~4木曜 | 15:00~17:00 | 46 |
| 30 | ストレッチ体操サークル | 健康体操 | 毎週木曜 | 9:00~11:00 | 56 |
| 31 | リズムック・カンフー千葉NTクラブ | 健康体操 | 第1~4木曜 | 11:00~13:00 | 6 |
| 32 | コスモス吹矢クラブ | スポーツ吹矢 | 毎週木曜 | 10:00~12:00 | 12 |
| 33 | 木刈親子読書会 | 読書会 | 第1~4水曜 | 16:00~18:00 | 132 |

(3) 利用集計

中央駅前地域交流館利用者集計表

令和5年4月1日～令和6年3月31日

[内容別利用者数]

| 分類 | 参加・利用延べ人数(人) | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
| 利用者数 | 10,550 | 5,830 | 7,886 | 7,282 | 5,602 | 5,941 | 6,934 | 6,180 | 5,627 | 5,913 | 5,994 | 6,989 | 80,728 | |
| 利用者内訳 | 主催事業 | 1,273 | 986 | 1,293 | 1,566 | 1,520 | 1,272 | 1,336 | 1,020 | 1,135 | 1,067 | 990 | 1,408 | 14,866 |
| | 学習室 | 33 | 51 | 43 | 94 | 126 | 79 | 74 | 70 | 45 | 33 | 43 | 53 | 744 |
| | まつり | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他・サークル等 | 9,244 | 4,793 | 6,550 | 5,622 | 3,956 | 4,590 | 5,524 | 5,090 | 4,447 | 4,813 | 4,961 | 5,528 | 65,118 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 公民館等総計 | 5,931 | 5,350 | 7,887 | 6,567 | 5,900 | 6,692 | 8,612 | 9,144 | 8,874 | 7,784 | 7,533 | 8,350 | 88,624 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|

[開館日数]

| 開館日数(日) | 備考 |
|---------|----|
| 292 | |

(4) 条例・規則

印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例

平成23年12月12日 条例第21号

改正

平成25年12月19日 条例第56号

平成31年3月22日 条例第23号

令和3年6月28日 条例第22号

令和4年12月19日 条例第16号

印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定により、印西市立中央駅前地域交流館（以下「地域交流館」という。）の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市は、市民の交流機会の創出、自発的な学習活動等を促進し、もって、健全で生き生きとした市民生活の形成に寄与するため、地域交流館を設置する。

(名称及び位置)

第3条 地域交流館の名称及び位置は、次のとおりとする。

| 名称 | 位置 |
|---------------|--------------|
| 印西市立中央駅前地域交流館 | 印西市中央南一丁目2番地 |

(業務)

第4条 地域交流館の業務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市民の相互交流の機会の提供に関すること。
- (2) 市民の自発的な学習活動の機会の提供に関すること。
- (3) 児童の健全な遊びの場の提供に関すること。
- (4) 乳幼児の保護者及び妊産婦に対する子育て支援に関すること。
- (5) 高齢者の教養の向上及びレクリエーション等の場の提供に関すること。
- (6) その他地域交流館の設置の目的を達成するために必要な業務に関すること。

(開館時間)

第5条 地域交流館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、午後9時まで開館することができる。

(休館日)

第6条 地域交流館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更することができる。

- (1) 定期休館日 月曜日（この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定する日に当たるときは、その翌日とする。）
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

- (3) 年始休館日 1月2日から1月4日まで
- (4) 年末休館日 12月28日から12月31日まで
- (5) 臨時休館日 特別の事情により教育委員会が必要と認めた日
(職員)

第7条 地域交流館に、館長その他必要な職員を置く。

(使用の許可)

第8条 地域交流館の施設又はその備品（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前項の許可には、施設等の管理上必要な条件を付することができる。

(使用の不許可)

第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、地域交流館の使用を許可しないことができる。

- (1) 公の秩序又は風紀を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設等を汚損し、又は損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれのある組織の利益になると認められるとき。
- (4) 感染性の病気にかかっていると認められるとき。
- (5) 許可なく物品の販売その他これに類する営利行為を行うと認められるとき。
- (6) 特定の宗教の利害に関することその他これに類する行為を行うと認められるとき。
- (7) 特定の政党の利害に関することその他これに類する行為を行うと認められるとき。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、地域交流館の管理運営上不適当と認められるとき。

(使用許可の取消し等)

第10条 教育委員会は、第8条の規定による使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の許可を取消し、又は使用を停止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第8条第2項の規定による使用の条件に違反したとき。
- (3) 虚偽の申請その他不正の手段により使用の許可を受けた事実が明らかになったとき。
- (4) その他施設等の管理上やむを得ない事情が生じたとき。

(目的外使用等の禁止)

第11条 使用者は、許可を受けた目的以外に施設等を使用し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(使用料)

第12条 使用者は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ、当該各号に定める額により算定された額の使用料を納入しなければならない。

- (1) 地域交流館の施設 別表第1に掲げる額
- (2) 地域交流館の備品 別表第2に掲げる額
(使用料の減免)

第13条 市長は次の各号のいずれかに該当する場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

- (1) 市がその事務事業を行う場合
 - (2) 団体が市長又は教育委員会の承認を得て共催により又は後援を受けて使用する場合
 - (3) 市内に所在地を有する公共的団体がその目的を達成するための事業を行う場合
 - (4) 市内に所在地を有する福祉団体がその目的を達成するための事業を行う場合
 - (5) 市内に所在地を有する社会教育関係団体で、教育委員会が認めたものがその目的を達成するための事業を行う場合
- 2 前項に定めるもののほか、市長は、特に必要があると認めたときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の還付)

第14条 既納の使用料は還付しない。ただし、市長が必要と認める場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償)

第15条 使用者は、自己の責めに帰すべき理由により施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところによりこれを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
(準備行為)
- 2 地域交流館に係る使用の許可申請、使用の許可、使用料の納入手続その他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。
(印西市立児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正)
- 3 印西市立児童館の設置及び管理に関する条例（昭和62年条例第2号）の一部を次のように改正する。
(次のよう略)
(印西市老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の一部改正)
- 4 印西市老人憩いの家の設置及び管理に関する条例（昭和62年条例第3号）の一部を次のように改正する。
(次のよう略)

(印西市立子育て支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正)

5 印西市立子育て支援センターの設置及び管理に関する条例（平成17年条例第21号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則（平成25年12月19日条例第56号）

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の別表第1及び別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に納入する使用料について適用し、同日前に納入する使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成31年3月22日条例第23号）

（施行期日）

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に納入する使用料について適用し、同日前に納入する使用料については、なお従前の例による。

附 則（令和3年6月28日条例第22号）

（施行期日）

1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（準備行為）

2 改正後の印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）の規定による指定管理者の指定、施設等の利用に係る申請及び許可、利用料金の納入手続その他この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

（経過措置）

3 新条例の規定は、この条例の施行の日以後の利用に係る利用料金について適用し、同日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（令和4年12月19日条例第16号抄）

（施行期日）

第1条 この条例は、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律（令和3年法律第37号）附則第1条第7号に掲げる規定（同法第51条の規定に限る。）の施行の日から施行する。ただし、附則第6条及び附則第7条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第12条）

（1時間につき）

| 室名 | 使用料 |
|----|-----|
|----|-----|

| | |
|-------------|--------|
| レクリエーションホール | 2,010円 |
| 視聴覚室 | 620円 |
| 調理実習室 | 530円 |
| 工芸室 1 | 340円 |
| 工芸室 2 | 220円 |
| 会議室 1 | 330円 |
| 会議室 2 | 330円 |
| 会議室 3 | 150円 |
| 会議室 4 | 270円 |
| 会議室 5 | 430円 |
| 和室 | 290円 |
| 展示室 | 160円 |

別表第 2（第12条）

（1回につき）

| 品目 | 使用料 |
|-----|--------|
| 陶芸窯 | 2,200円 |

印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成24年1月20日教育委員会規則第1号

改正

平成30年3月26日教委規則第8号
令和3年3月26日教委規則第3号
令和3年8月17日教委規則第7号
令和3年11月19日教委規則第10号
令和3年11月19日教委規則第12号
令和5年3月28日教委規則第7号
令和5年9月20日教委規則第10号

印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則
(趣旨)

第1条 この規則は、印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例（平成23年条例第21号。以下「条例」という。）第16条の規定により、印西市立中央駅前地域交流館（以下「地域交流館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用目的)

第2条 条例第2条の設置目的を達成するため、地域交流館の施設及びその備品（以下「施設等」という。）を市民交流の推進に供するとともに、次のとおり活用する。

- (1) 交流ホール、レクリエーションホール、視聴覚室、和室、会議室、工芸室、調理実習室、講座室、展示室及び陶芸窯 市民交流又は自発的学習の場の提供
- (2) 遊戯室、学習コーナー、図書コーナー及び子育てルーム 児童の健全育成及び子育て支援の提供
- (3) ふれあいの部屋及び憩いの家 高齢者の憩いの場の提供

(使用期間)

第3条 地域交流館の施設等を引き続き6日を超えて使用することはできない。ただし、印西市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が支障がないと認めるときは、この限りではない。

(使用の申請)

第4条 条例第8条に規定する地域交流館を使用しようとする者（以下「申請者」という。）は、使用許可申請書（印西市公共施設予約システムの利用等に関する規則（平成17年規則第68号。以下「予約規則」という。）第6号様式。）を教育委員会に提出しなければならない。ただし、予約規則第12条第4項の規定による場合は、使用許可申請書の提出があったものとみなす。

- 2 前項の規定による使用許可申請書の提出期間は、施設等を使用しようとする日（以下「使用日」という。）の属する月の2月前の月の9日から使用日の3日前までとする。ただし、教育委員会が特に理由があると認めるときは、当該期間外においても当該申請をすることができる。

(使用時間数)

第4条の2 地域交流館を使用することができる1月当たりの時間数は16時間以内(第2条第1号に規定するレクリエーションホールにあつては8時間以内)とする。

2 使用日の属する月の2月前の月の16日以降の申請による地域交流館の使用は、前項の時間数を超えることができる。

(利用者登録による予約)

第5条 申請者は、予約規則に基づき、あらかじめ住所、氏名その他地域交流館の使用に関する事項について登録(以下「利用者登録」という。)をすることができる。

2 利用者登録をした者は、使用日の属する月の2月前の月の初日から7日までの間に、予約規則に基づき、使用の許可の申請の予約(以下「予約」という。)をすることができる。なお、予約は、地域交流館に限るものとし、1月16時間以内(第2条第1号に規定するレクリエーションホールにあつては8時間以内)とする。

3 教育委員会は、前項の規定により予約をした者の数が使用に供すべき地域交流館の施設の数を超えるときは、抽選により使用の許可の予定者(以下「使用予定者」という。)を決定する。

4 教育委員会は、第2項の規定により予約をした者の数が使用に供すべき地域交流館の数を超えないときは、当該予約をした者を使用予定者として決定する。

5 利用者登録をした者は、使用日の属する月の2月前の月の9日から使用日の3日前までの間に予約規則に基づき、随時予約をすることができる。この場合において、教育委員会は、当該予約をした者を使用予定者として決定する。なお、随時予約は、第2項に規定する予約時間も含め、1月16時間以内(第2条第1号に規定するレクリエーションホールにあつては8時間以内)とする。

6 使用予定者は、次の各号の区分に応じ、当該各号に定める期間内に第4条第1項に規定する申請書により、申請をしなければならない。

(1) 第3項及び第4項の規定により使用予定者として決定された者 使用日の属する月の2月前の月の9日から15日(その日が条例第6条に規定する休館日であるときは、教育委員会が別に定める日)まで

(2) 前項の規定により使用予定者として決定された者 使用予定者として決定された日から使用日の3日前(その日が条例第6条に規定する休館日であるときは、教育委員会が別に定める日)まで

7 教育委員会は、前項各号に掲げる者が、当該各号に定める期間内に申請をしないときは、使用予定者としての決定を取り消すものとする。

(使用の許可)

第6条 教育委員会は、第4条の規定による申請が適当であると認めるときは、使用許可書(予約規則第7号様式。)を申請者に交付するものとする。ただ

し、予約規則第13条第2項の規定による場合は使用許可書の交付があったものとみなす。

(専有をしない場合)

第7条 第2条第2号及び第3号の施設を使用する者で、その施設を専有しない場合は、来館時に使用する施設名、氏名、住所及び連絡先を記入すること。

(使用の取消)

第8条 使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、地域交流館の使用を取消しするときは、使用許可書を添えて使用取消届出書(予約規則第8号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による届出を承認したときは、使用取消承認書(予約規則第9号様式)を使用者に交付するものとする。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、条例第10条の規定により地域交流館の使用許可を取消し、又は使用を停止させたときは、印西市立中央駅前地域交流館使用取消(停止)通知書(別記第1号様式)により使用者に通知するものとする。

(使用料の納入)

第10条 使用者は使用料を第6条の規定による使用許可書の交付を受ける際に納入するものとする。

(使用料の減免)

第11条 条例第13条の規定により、使用料の減額又は免除を受けようとする者は、印西市立中央駅前地域交流館減免申請書(別記第2号様式)を教育委員会に申請しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、印西市立中央駅前地域交流館減免承認書(別記第3号様式)を使用者に交付するものとする。

3 条例第13条第1項第3号に定める公共的団体とは、町内会、自治会等の住民自治組織団体をいう。

(使用料の還付)

第12条 条例第14条ただし書の規定による使用料の還付は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 教育委員会が管理上その他やむを得ない理由により使用を停止し、又は使用の許可を取り消した場合 全額

(2) 天災その他使用者の責によらない理由により使用できない場合 全額

(3) 使用日の7日前までに使用の取消しを申し出て市長の承認を得た場合 半額

(館長の職務)

第13条 館長は、上司の命を受け、地域交流館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 館長は、担当の業務の円滑な運営を図るため、必要に応じ、班の責任者(以下「主任」という。)を指定する。

(職員の職及び職務)

第14条 条例第7条において地域交流館に置くことのできる職員（館長を除く。）の職及び職務は、次のとおりとする。

| 職 | 職務 |
|-------------------------------|----------------------------------------------------|
| 副参事 主幹 副主幹 主査 主査補 | 上司の命を受け、所掌事務を掌理する。 |
| 主任主事 主事 | 上司の命を受け、事務を掌る。 |
| 社会教育主事 | 上司の命を受け、社会教育を行う者に専門的、技術的な助言と指導を与える。 |
| 主任児童厚生員 児童厚生員 | 上司の命を受け、児童の自主性・社会性の育成を目的として児童の遊びを指導する。 |
| 主任保育士 保育士 | 上司の命を受け、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導及び子育てに関する相談業務を行う。 |

2 前項に掲げるもののほか、印西市職員の定年等に関する条例（昭和58年条例第14号）、印西市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例（令和4年条例第22号）及び一般職の任期付職員の採用に関する条例（平成19年条例第24号）に規定する職員を置くことができるものとする。

（主任の職務）

第15条 主任は、上司の命を受け、担当する班の事務を管理する。

（事務分掌）

第16条 地域交流館に置く班及びその事務分掌は、次のとおりとする。

指導班

- （1） 公印の保管に関すること。
- （2） 文書の收受及び発送に関すること。
- （3） 文書、帳簿の整理及び保存に関すること。
- （4） 庶務及び会計に関すること。
- （5） 資料、統計、調査及び広報に関すること。
- （6） 施設等の維持及び管理に関すること。
- （7） 市民交流に関する事業の実施に関すること。
- （8） 生涯学習に関する事業の実施に関すること。
- （9） 関係機関及び各種団体との連絡に関すること。
- （10） サークル活動、グループ活動等の育成及び指導に関すること。
- （11） 各種展示資料及び学習資料の収集及び利用に関すること。
- （12） 児童の健全な遊びの指導に関すること。
- （13） 児童の体力増進の指導に関すること。

- (14) 子育てに関する相談に応じ、指導を行うこと。
 - (15) 子育てに関する情報及び学習の機会を提供すること。
 - (16) 子育て活動に対し育成及び支援を行うこと。
 - (17) 高齢者の教養の向上及びレクリエーション等の場の提供に関すること。
 - (18) 公民館、有料公園施設、文化ホール、地域福祉センター及び老人福祉センターの使用手続に関すること。
 - (19) その他施設の設置目的の達成に関すること。
- (臨時又は非常勤の職員)

第17条 地域交流館には、第14条に定めるもののほか、必要に応じ、臨時又は非常勤の職員を置くことができる。

(事務処理)

第18条 地域交流館における事務処理については、印西市教育委員会事務局の取扱いの例による。

2 館長の専決事項は、次のとおりとする。

- (1) 開館及び閉館時刻の変更に関する事項
 - (2) 使用許可に関する事項
 - (3) 使用者の申請に基づく使用の取消し及び変更の承認に関する事項
- (使用者の遵守事項)

第19条 使用者は、地域交流館の使用に当たり使用許可書を提示し、職員の指示に従うほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 収容定員を超えないこと。
- (2) 指定された場所以外で飲食、喫煙及び火器を使用しないこと。
- (3) 指定された場所以外は、出入りし、又は使用しないこと。
- (4) 許可なく備品を移動し、持ち出し又は使用しないこと。
- (5) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物（身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬（同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。）を除く。）を持ち込まないこと。
- (6) 地域交流館の職員の指示に従うこと。

(職員の立入り)

第20条 使用者は、職員が地域交流館の管理上、使用中の施設の立入りを要請したときは、これを拒むことはできない。

(原状回復)

第21条 使用者は、地域交流館の使用後、原状に回復したときは、直ちに職員の点検を受け、その指示に従わなければならない。

(汚損等の届出及び賠償)

第22条 使用者は地域交流館の施設等に汚損等を加えたときには、直ちにその旨を印西市立中央駅前地域交流館設備損傷等の届出書（別記第4号様式）により教育委員会に届け出なければならない。

2 使用者は、賠償の請求を受けたときには、請求を受けた日から7日以内に

賠償をしなければならない。

(委任)

第23条 この規則に定めるもののほか、地域交流館の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(準備行為)

2 中央駅前地域交流館に係る使用申請、使用の許可、使用料の納入手続その他この規則を施行するために必要な準備行為は、この規則の施行前においても行うことができる。

(印西市教育委員会行政組織規則の一部改正)

3 印西市教育委員会行政組織規則（昭和41年教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成30年3月26日教委規則第8号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月26日教委規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和3年8月17日教委規則第7号）

この規則は、令和3年9月1日から施行する。

附 則（令和3年11月19日教委規則第10号）

(施行期日)

1 この規則は、令和4年3月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際、現にある改正前の印西市立公民館の管理及び運営に関する規則、印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則、印西市立図書館設置条例施行規則、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例施行規則、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則、印西市立木下交流の杜歴史資料センターの設置及び管理に関する条例施行規則及び印西市文化財保護条例施行規則の様式による用紙については、当分の間、所要の調整を行って使用することができる。

附 則（令和3年11月19日教委規則第12号）

(施行期日)

1 この規則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 改正後の印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則（以下「新規則」という。）の規定による指定管理者の指定、施設等の利用に係る申請及び許可、利用料金の納入手続その他この規則を施行するため

に必要な準備行為は、この規則の施行前においても行うことができる。

(経過措置)

- 3 この規則の施行前に改正前の印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例施行規則の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、新規則の規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則 (令和5年3月28日教委規則第7号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則 (令和5年9月20日教委規則第10号)

この規則は、令和5年10月1日から施行する。

令和5年度 公民館・地域交流館事業報告書

あゆみ

発行 令和6年6月

発行者 印西市立中央公民館

印西市大森3934-1